

帚木(大・松・池・秀・肖・三・明・吉・尼・歴・徹・証・正・飯・理)

証・正・飯・理)

00 35-01 ことくしうことくしうくノ上カラうヲ書クカ」吉

00 35-01 おほかなるにおほかるなかに秀

00 35-02 きつたへてつたへて飯

00 35-04 いとナシ松

00 35-04 ほとほとに理

00 35-05 かの少将にはかの少将に吉

00 35-05 ものし給ときはものし□□時は「破損カ」

歴

00 35-06 ようしよら(う)し「朱」大

00 35-06 大殿にはおほいとのには肖三徹証正おほい(本無)とのには三大殿に(は)飯

記「ヲ」ヲ削ル」尼

00 35-07 ありしかと有しかと「か」とへノミセケチト傍

00 35-08 まれには「ま」れには「朱」大

00 35-09 御心に(御心に)歴

00 35-09 御ふるまひおほむふるまひ池秀明尼飯理

※

00 35-11 大殿にはおほいとのには証大(い)殿には

理

00 35-11 うらめしくうらめしと池秀三歴証うらめしく(とイ)肖うらめしく「ヲ削ッテクヲ書ク」尼

00 35-11 おほしたれとおほした(ケ)れと尼

00 35-11 御よそひ：00 38-13 又落丁秀

00 35-12 御むすこの御むすこへの「朱」大

00 35-12 御とのゐる所に御とのゐる所の松池肖三明

吉尼歴証飯理

00 35-13 給ふ給たまふ吉

00 35-13 なかに中に池明飯理

00 35-14 たはふれをもたはふれとも吉

00 36-01 いとナシ徹

00 36-03 きこえナシ松

00 36-04 かしこまりもかしこまりをも飯

00 36-05 えをかす(えい)をかす松をかす「尼ハをノ前ノ補入符号ト傍記えヲ削ル」池肖尼歴

証(本無)をかす三

00 36-05 心のうちに心の中に肖正

00 36-05 こともことをも松池肖三明吉尼歴徹証正飯理

理

00 36-05 かくしあへすよくしあへす理

00 36-06 しめやかなるしめやか(な)る松※

00 36-07 おほとなふらおほとなあふら松肖おほとな

ふら「なニ削訂」尼

00 36-07 ふみともなと文なと徹

00 36-08 み給見給ついでに肖徹証正

00 36-08 いろくのかみなるナシ歴

00 36-08 ふみともをふみとも飯

00 36-08 ひきいてひいてて理

00 36-10 おほされんおほしめさむ池三理おほ(しめ)されん三おほされむ「ヲ削ッテされヲ書ク」尼※

00 36-10 ゆかしけれゆる(か)しけれ「朱」大

00 36-10 をしなへたるおしおしなへてたる吉

00 36-11 をのかしをのかし「ハクニミエル」飯

00 36-12 などのこそなとへのこそ歴

00 36-12 み所はみところ吉

00 36-13 おほそうなるみつしなとに(おほそふなる御つしなとに)飯

00 36-14 うちをきをき松

00 36-14 とりをきとり(おき)松とりをき(かくし)尼

00 36-14 二のまのこれは二のまの池肖三歴徹証

正飯理(これは二のまの三)これは二のま

ちの「ニ墨合点」尼(これは(イ無)二のま

の徹

00 37-01 なるへしなるへし(と)理

00 37-01 よくかく「明ノかハよノ誤写」明理「ナシ歴

※

00 37-02 かねかなとふかねかなと(と)ふ朱「大」か

れかとふ松「カ」れなとふ徹

00 37-02 なかに中に松肖三吉徹証正飯なう(か)に

池

00 37-02 ことをも事を吉

00 37-05 心よく心きよく明

00 37-07 やうく(なむ)やうく(なん)三やうく(な

む)「なニ墨合点」尼

00 37-07 み給へしるみたまふへしる吉見給しる徹

証

00 37-07 はしりかきはしりかたき吉

00 37-08 すいふんにすい分に尼徹正

00 37-08 み給れとみたまふれと松池肖三明吉尼証正

理

00 37-09 そのかたをその破損カ歴そのかた飯

00 37 09 えらひにえらひ吉
 00 37 11 事「ミセケチアルカ」正
 00 37 11 おやなとおや(な)と池
 00 37 11 こもれる(こ)もれる池
 00 37 11 まとのうち窓の中肖三
 00 37 12 たゝかたかとをたゝかた事(かと)を松たか
 <とを吉
 00 37 12 あめりあめり「リ二削訂」尼
 00 37 13 すさひすさみ三すま(さ)ひ明すさひ「ひ
 二削訂」尼
 00 37 13 人まねに人まね(なみイ)に肖
 00 38 01 をくれたるかたをはいひかくしきてありぬへ
 き「おくれたる(たるかたおはいひかくしきて
 ありぬへき)吉
 00 38 01 きてさ肖きても証
 00 38 02 それそれか飯
 00 38 02 おもひくたさむ思(ひ)くたさむ池
 00 38 02 まことかとまことにかと池
 00 38 02 みもてゆくにみをとらせぬやうはなくなむ補
 入「朱」大
 00 38 03 やうは様は吉
 00 38 03 けしきけし池
 00 38 04 我も松池肖三吉尼歴徹証正飯理※
 00 38 04 おほし「お」もほし肖
 00 38 04 うちほをえみてうちほゝゑみて肖三歴徹証
 正
 00 38 05 あらむやとあらむ(や)と吉
 00 38 05 の給へはのへたまへは松※
 00 38 06 いうなり(い)ゆうなり肖いふなり吉飯

00 38 07 すくれたるとはすくれたることは池すくれ
 たるとは「ことヲ削ツテとヲ書ク」尼すくれ
 たりとは徹
 00 38 07 こそこそは理
 00 38 07 人の人(の)松
 00 38 08 かくるゝ事かくるゝ事も証
 00 38 08 その(その)「かカ」松※
 00 38 08 こよなかるへしこよなかるへ(へ)し理
 00 38 08 中のしななかのしな松吉
 00 38 09 人の人(の)三
 00 38 09 おもむきをももんきも松おもむき池おも
 むき(も)尼
 00 38 09 わかるへきことかた<<おほかるへき(別る
 へきことかた<<おほかるへき)尼
 00 38 10 へきへし松
 00 38 12 もとのしなもと(の)しな徹
 00 38 12 むまれなからゝむまれなから(ぬれはイ)
 理
 00 38 13 人けなき人けなき(あたり)飯
 00 38 13 なを人のなを(ほ)人の松※
 00 38 13 なとまでまで肖なとまでまで明(へ)などま
 て歴
 00 38 13 なるのほりなるのほりたる池秀三歴証なり
 のほり(たる)三なるのほりたる尼なるのほ
 り(たる)理
 00 38 13 われはかほわれは(は)かほ「朱」大
 00 38 14 家のうちをいゑの中を肖正
 00 38 14 おもへるおもへは飯
 00 39 01 藤式部のそうとうしきふのせう大松池肖三

明吉尼歴徹証正飯理 藤式部のせ(そ)う大
 ※
 00 39 01 まいれりまいれる徹証正
 00 39 03 ためためため肖
 00 39 03 きゝにきききききき秀
 00 39 03 すちならぬはすちならぬ(は)「朱」大
 00 39 04 世人の世の人の肖徹証正よ人飯
 00 39 05 すちなれとすちなれとも三すちなれと「と
 ノ下ノ補入符号ト傍記もヲ削ル」尼すちなれ
 とも徹正
 00 39 05 時世に時世肖三徹証正時世(に)イ三
 00 39 05 うつろひてうつろひ(い)て「ミセケチアル
 カ」吉
 00 39 05 おとろえぬれはおとろへぬ(れ)は秀
 00 39 06 事とも事とも松尼※
 00 39 07 なかのしな中のしな池秀肖三明吉尼徹証正飯
 理「ココヨリ四〇三いはすマデ錯簡歴
 理」
 00 39 07 すりやうす両歴理受領「削訂カ」飯
 00 39 07 いひていひて「□本てなしト傍記」秀
 00 39 07 かゝつらひかゝつらひ吉
 00 39 08 中にもなかにも松秀吉歴中こも「こハにノ
 誤写」明※
 00 39 08 中のしななかのしな松池秀明吉尼歴飯
 理
 00 39 09 えりいてつへきえりいつへき「いつノ間ニ
 補入符号ノミアリ松」とりいてつへき秀
 00 39 09 なま<<のなま吉
 00 39 09 よりも「はヲ削ツテもヲ書ク」池
 00 39 09 四位とも(三位)四位とも飯

00 39 10 もとのねさしいやしからぬナシ秀
 00 39 10 いやしからぬやすらかに いやしからぬ(かや
 すらかに)池
 00 39 10 いやしからぬ いやしからぬか「飯ハか後補
 カ」池肖三尼歴徹証正飯理「いやしからぬ(か)
 三
 00 39 11 かほらかなりや かほらなりや理
 00 39 11 たらぬ「たえ(ら)ぬ」朱「大たえぬ秀尼正」た
 え(へ)ぬ秀
 00 39 11 なかめる なかめなる吉
 00 39 11 はふかす「はふかす」ヨノソシリヲモコトニ
 ハ、カラス イ」ト傍記「松はふかす」「はハ
 いニ似ル」秀
 00 39 13 とりいつる よりいつる理
 00 39 13 ためしとも ためしとも「とハ後補」歴
 00 39 14 おほかりかし おほかり(るイ)かし肖 おほ
 かりし吉 おほかるかし徹証正
 00 39 14 にきは、しきにくきは、しき吉
 00 39 14 なむなり な、り松池秀三明吉尼歴飯理
 00 39 14 とて(へ)てニ
 00 40 01 おほせらると おほせらるゝと松吉徹正飯お
 ほせらるとて池証 おほせらるゝとて秀歴お
 ほせらるとてニ※
 00 40 01 にくむ「にくん」トルカ「松
 00 40 02 うちあひ うちある飯
 00 40 03 いふかひなく ゆふかひなく池 いふかひ無
 吉
 00 40 03 うちあひて うちあひ(へ)歴
 00 40 04 これこそは これこそ松

00 40 04 ことと(に)ほ)と、尼※
 00 40 05 事と(こと)吉事と(へ)も)尼
 00 40 05 をよふへき およふ「へ」き歴
 00 40 05 かみかかみは かみかかみは(は)「朱」大か
 みか、みに明
 00 40 05 うちをき待ぬ(うち)をき待ぬ明
 00 40 06 して(へ)て池
 00 40 06 ありと(あり)と(へ)しも)飯
 00 40 06 さひしく「さ」ひしく明※
 00 40 06 あはれたらむ あはれたらん「はニミセケチ
 カ」秀 あはれたらむ「らカ、カ」歴
 00 40 07 おもひのほかに「思(ひ)のほかに池 おもひほ
 かに理
 00 40 08 いかてはた「いかてかはた吉
 00 40 08 たかへる たたかへる徹
 00 40 09 ものむつかしけに「ものむつかしけに」ミセケ
 チヲ削ルカ「尼
 00 40 10 ねやのうちに「ねやの中に肖正
 00 40 12 をかしからさむ おかしからむ「さらト補入
 アルカ」吉
 00 40 12 をよはさらめ およは(へ)さらめ)歴
 00 40 13 ものをはとて「物をい(は)とて秀 物を(へ)は
 とて「はヲ削ツテはヲ書ク」尼
 00 40 13 みやれは「み(や)れは吉
 00 40 13 わかいもうともの わかいもうと(へ)と
 もの大いもうと、もの秀 わかいもうとの
 歴
 00 40 13 よろしき、こえよろしき、こえ松※
 00 40 14 の給にやとやの給(ふ)にやと池の給ふに

00 41 01 おほすへししろき おほす(へ)ししろき「朱」
 とや三理
 大
 00 41 01 なよ、かなよらか「池ヨイカ」池秀なよか
 明※
 00 41 02 なをし(な)おし池
 00 41 02 うちすて、(ち)ちすて、明
 00 41 02 御ほかけ 御かほかけ「先出かニ朱ミセケチ
 カ」飯
 00 41 03 めてたくめてたう理
 00 41 03 御ためには 御さためには徹
 00 41 03 かみかかみを かみか、を肖 かみか、くみ
 を理
 00 41 04 あくましくあくましく松吉
 00 41 04 みえ給ふ みえ給(このつゐてに)飯
 00 41 05 うちのむ、うちのん松
 00 41 05 えらんに「えらはんに肖徹証正
 00 41 06 中にもなかに吉
 00 41 06 おもひ(思ひ)池
 00 41 06 おのこのをこの吉
 00 41 06 つかうまつり つかうまつり吉
 00 41 07 世の「世の」秀
 00 41 07 なるへきもなるへき証
 00 41 07 うつはものうつ「は」物秀
 00 41 07 なるへきをなるへき(と)尼
 00 41 07 とりいたきむには「とりいたきさんに(へ)は
 吉
 00 41 08 かたかるへしかし「かたかるへし秀
 00 41 08 かしこしとても「かしこくとても吉

- 00 41 08 世中を「世のな[か]を証
- 00 41 10 ゆつろふらん「ゆつろふらん池※
- 00 41 10 うちの「中の松[うち]の[吉]
- 00 41 10 おもひめくらす「思めへくらす秀
- 00 41 11 たらはて「たえはて「ヨイカ」理
- 00 41 11 あしかるへき「お(あ)しかるへき秀
- 00 41 11 おほかる「おほかるかな吉
- 00 41 11 とあははか「り」とあ(す)「れはか「り証
- 00 41 12 すさひ「すさみ松
- 00 41 13 みあはせむの「見あはせむの肖
- 00 41 13 ひとへに「ひとつに池「ひとへに「□ヲ削ッテ
- ヘヲ書ク」尼
- 00 41 13 おもひきたむ「おもひきたん「トルカ」松
- 00 42 01 やうにもやと「様もやと肖尼徹正「様にも
- やと三証やうもやと尼徹正やうにもやと
- 尼
- 00 42 01 きたまりかたき「きため(まり)かたき秀
- 00 42 02 おもふに「思ひに三「思ひに証
- 00 42 02 かなはねと「かなはねほと吉
- 00 42 02 心にく「心にくし「しハ「ノ誤写」明※
- 00 42 03 ものまめやかなりと「ものまめやかなりと」に
- ノ上カラなヲ書ク」尼
- 00 42 04 みたまへあつむる「み給へあつむる秀
- 00 42 05 君達「きむたち松池秀明吉尼歴飯理「君たち肖
- 三徹証正※
- 00 42 05 ましてあして「ヨイカ」理
- 00 42 05 人かは「事(人)かは歴
- 00 42 06 たくひ給はん「たくひ給はん所せく思ふ給へ
- ぬにたに肖徹証正飯「たらひたまはむ明「たく

- 00 42 08 わつかなる「につかなる理
- 00 42 09 ことすくな「るか「ことすくな「る理
- 00 42 09 いとナシ徹
- 00 42 10 あまり「あまりへに「イ无」三「あまりへに「イ
- 理
- 00 42 11 すへし「わろし飯
- 00 42 11 ことかなかに「ことか中に「三「ことかニ「ア
- ルカ」ト傍記」肖三徹証正「ことへか」なかに
- 吉
- 00 42 12 しりすくし「しりへすくし」秀
- 00 42 12 なさけあり「なさけあり「て敷」歴
- 00 42 13 なくても「なくて松
- 00 42 14 家とうし「の家とうし吉
- 00 43 01 た「すまひた「すまひ「ひヲ削ッテのヲ書ク」
- 尼
- 00 43 03 ちかくて「ちかえ(く)て「別筆力」明※
- 00 43 03 うちもゑまれ「うちへもゑまれ肖
- 00 43 04 はらた「しくはらはらた「しく明
- 00 43 05 事なと「ことなれと松「ことなむと明理「事な
- れと吉飯
- 00 43 05 なに「かは「なにかは秀「なにかは尼
- 00 43 06 うち「ナシ吉
- 00 43 06 なに「事そなと「なに「事そなと「なに「事そなと
- 歴
- 00 43 07 ゐたらむは「ねたらむは「ねハるノ誤写」明
- ※

- 00 43 07 ちおしからぬ「ちを(お)しからぬ池「ち
- をしからえ「えイ」ぬ「えはらノ誤写力」飯
- 00 43 08 とかく「ナシ飯
- 00 43 08 ひきつくろひては「ひきつくろひては池
- 00 43 08 なとかみ「さらん心もとなくとも「へなとかみえ
- さらん心もとなくとも「秀
- 00 43 09 さしむかひて「さしんかひて「トルカ」松む
- かひて「ヨイカ」証
- 00 43 10 みるへきを「みゆへきを松吉
- 00 43 10 たちはなれて「たちはなれては証
- 00 43 11 あた事にも「あたことにも「もノ上カラにヲ書
- ク」秀
- 00 43 11 おもひうる「心うる秀
- 00 43 11 ふかき「ふる(か)き尼
- 00 43 13 そは「しくそはそは「しく徹
- 00 43 13 やうも「様も吉
- 00 43 14 いまは「ことは吉
- 00 44 01 よらし「よからし松
- 00 44 01 いはしい「はす池尼理「いはし「す「本三
- 00 44 01 なくはた「なくはた吉「なくは秀
- 00 44 02 しつかなる「しつる(か)なる「朱」大
- 00 44 02 おもむぎ「おもむ(む)き「ひノ上カラむヲ書
- キ、ミセケチニシテ傍記力」理
- 00 44 03 たのみ所には「たのみ所にも飯
- 00 44 03 へかりける「へかりへける吉
- 00 44 03 あまり「あまりの松池秀肖三明吉尼歴徹証正
- 飯理
- 00 44 03 心はせ「心はえ「尼ハ□ヲ削ッテえヲ書ク」池
- 秀三尼理「心はえ(せ)「□本」秀「心はえ(せイ)

三心はへ(セイ)理
 00 44 03 うちそへたらむをはうちそへたらんは秀う
 ちそへたらんをは「補入ナシ」三※
 00 44 04 すこしすこし(ほしイ)「ヨイカ」松
 00 44 04 をくれたるをくれたらん肖
 00 44 04 かつ方の徹
 00 44 05 もてつけつへきもてつけつへき吉飯もてつへ
 けつへき尼
 00 44 06 ものはちして物はかりして「かりハちノ誤
 写」明※
 00 44 06 いふへきいふへきいふ歴
 00 44 06 みしらぬみえぬ秀
 00 44 07 みさをつくりみさをつくりへて尼
 00 44 08 かつみかつ身(ミイ)松
 00 44 09 山さと山さとの池尼山さとへの本三山
 さとの理
 00 44 09 などに「とカ」秀
 00 44 09 はひかくれぬるおりかしはひかくれぬるお
 り松池秀明尼歴はひかくれぬかし「飯ハおり
 ヲ削ツテかしヲ書クカ」肖三徹証正飯はひか
 くれぬるをり(かし)吉はひかくれぬるをり
 (かし)尼はひかくれかし理
 00 44 10 女房女かた(女房)「貼紙カ」松女のかた
 吉
 00 44 10 物かたり物かたりを肖
 00 44 11 なんナシ尼歴なん尼
 00 44 11 いまと吉いまは証
 00 44 11 思には思給ふには徹
 00 44 12 ふかゝらんへふかゝらん吉

00 44 12 おとこを「おとこ秀
 00 44 13 みしらぬやうにけかくれて見しらぬやう
 □本」にけかくれ秀※
 00 44 13 心をみんとこゝろをもみんと松池秀三吉尼
 飯理※
 00 44 13 物おもひに物思と秀
 00 45 01 いといとへたけう飯
 00 45 01 やうにて様にて肖三証
 00 45 01 世にかへりみすへくもよる(に)かへりみ
 すへくも「かハるノ下部ヲ転用ス」秀
 00 45 02 かなしかしこ秀かへなし吉
 00 45 03 あひしれるあひしれる「いノ上カラヒヲ書
 ク」吉
 00 45 04 御心は御心はえ秀御心は(えイ)肖御こゝ
 ろ吉御心はへは証
 00 45 05 かきさくりてかいさくりて松吉
 00 45 05 あへなくあへ(や)なく松
 00 45 06 こほれそめぬれはこほれぬれは「尼ハれトぬ
 ノ間ノ補入符号ト傍記□めヲ削ル」池肖三尼
 歴徹証正こほれそめぬれは三
 00 45 06 えねむしえずねんしえず松歴えねんしえず
 松
 00 45 06 くやしきことくやしき事も松池秀肖三吉尼
 歴徹証正飯※
 00 45 07 み給つへし見給つへし尼
 00 45 07 にこりにしめるにこりかしめる理
 00 45 08 かへりて返へりて吉
 00 45 08 たえぬへなをたえぬ飯
 00 45 09 なきてなきて理

00 45 09 たつねとりたらんもやかてそのおもひいてう
 らめしきふしあらざらんやあしくもよくも尋
 △られてもその思出うらめしきふしあら(や
 あしくもよくも)「□つねとりたらんもやかて
 ヲ削ツテ書ク」飯
 00 45 09 そのおもひいてうらめしきふしあらざらんや
 あしくもよくもナシ「飯ハ前項参照」松池秀
 三明吉歴証理(その思出うらめしきふしあら
 ざらんやあしくもよくも)尼(そのおもひ出
 うらめしきふしあらざらんやあしくもよくも
 イ)理
 00 45 11 きさみをもきさみを吉
 00 45 11 中こそ中(そ)「朱」大
 00 45 12 あらむ人をうらみてけしきはみそむかんはた
 をこかましかりなん心はうつろふ方(あらむ
 人をうらみてけしきはみそむかんはたをこか
 ましかりなん心はうつろふ方)をこかましマ
 デ本文ト同筆、かりなん以下朱筆、方ニ墨筆
 デナゾル形跡」明
 00 45 14 おもはゝおもは池
 00 45 14 さやうならむさせるやうなからん池さへる
 本(やうならん三)さるやうならん尼
 00 45 14 たちろきに「たちろに理
 00 46 01 すへてすすへて理
 00 46 01 ゑんすへきゑんすへき松池秀明吉尼(ゑん)すへ
 き吉
 00 46 02 うらむへからむふしをも(うらむへからぬふ
 しをも)秀
 00 46 02 かすめなさはかすめなさはこそ吉

00 46 | 03 あまりあまりに歴
 00 46 | 05 かるきかるき「るヲ削ッテろヲ書クカ」
 歴
 00 46 | 05 かたにそ方にそ「削訂」池
 00 46 | 05 おほえ侍かしおほえ侍りかし吉
 00 46 | 05 うきたるう□きたる「□ハキト傍記んヲ削
 ル」尼
 00 46 | 05 あやなしあやへなし尼
 00 46 | 05 さは侍らぬかさは侍ぬか「トルカ」明
 00 46 | 06 うなつくうなつ「い」く「後補カ」秀
 00 46 | 06 あはれともナシ松吉
 00 46 | 08 なとかなとか秀※
 00 46 | 08 みさらむとみ□さらんと「□ハ文字ヲ削ッタ
 跡」尼
 00 46 | 08 おほえたれとおほえて(た)れと理
 00 46 | 09 みしのはむ見ししのはむ池※
 00 46 | 10 さためにさためには理
 00 46 | 10 給へりと給へると理
 00 46 | 11 ことはこと徹
 00 46 | 11 さうくしくさうくして飯
 00 46 | 12 ひゝらぎぬたりひひゝらぎぬたり松※
 00 46 | 12 中将は中将吉
 00 46 | 12 ことはりことはりを肖徹証正
 00 46 | 13 心いれて心に入て肖徹証正飯心いれて徹
 飯心「に」いれて飯
 00 46 | 13 あへしらひあひしらひ徹
 00 46 | 13 ゐ給へり給へり肖
 00 46 | 14 よろつのナシ「松ハ補入符号ノミアリ」松
 吉

00 46 | 14 いたすも「た」すも明
 00 46 | 14 もてあそひものゝその物ともてあそひ物への
 その物と三
 00 47 | 01 さたまらぬさへたまらぬ「朱」大
 00 47 | 01 そはつきそはつき「□ヲ削ッテはヲ書ク」
 尼
 00 47 | 01 しつへかりけりしつへかりける秀
 00 47 | 02 むうつりてめうつもて「もハリノ誤写」明め
 うつりて「□ヲ削ッテうヲ書ク」尼※
 00 47 | 02 をかききもあり大事としておかしきも大事
 をして秀
 00 47 | 03 うるはしきうるかはしき飯
 00 47 | 04 事なん事池秀肖三歴徹証正ことなん三事
 へなむ」尼
 00 47 | 05 上手しやうす「トルカ」肖三証正
 00 47 | 05 えらはれてえらはれ池歴証
 00 47 | 05 つきつきにつきに松つきく秀肖※
 00 47 | 06 みえわかれすみわかれす吉
 00 47 | 06 人の人くの松人くの吉※
 00 47 | 06 みをよはぬみよはぬ肖
 00 47 | 06 ほうらいの山ほうらいの山の「松後出の八補
 入力」松池歴ほうち(ら)いの山の秀ほうら
 いの山の尼
 00 47 | 07 いほのいをの「トルカ」松池肖三明尼証理う
 をの吉徹魚の正
 00 47 | 07 けたものゝたけ物ゝ「けヲたノ前ニ移ス符号
 アリ」吉
 00 47 | 07 かたちすかた(かたち)秀
 00 47 | 07 かほかたち(かほか)秀

00 47 | 08 めおとろかしてへめおとろかして池目お
 へとろかして肖
 00 47 | 08 ちにはまことには松
 尼
 00 47 | 10 なつかしく夏かしよう徹
 00 47 | 11 すくよかならぬすくよからぬ正
 00 47 | 11 こふかくに(こ)ふかく池木ふかく「トル
 カ」肖三歴証こふかく「に」ヲ削ッテこヲ書ク
 カ、こノ下ニ補入符号アリ、傍記こヲ削ルカ」
 尼
 00 47 | 12 うちをは中をは肖三証正
 00 47 | 12 なとをへなとを」尼
 00 47 | 12 わろ物わるもの「尼ハろヲ削ッテるヲ書ク」
 肖三歴徹証に(わ)る物正
 00 47 | 13 かきたるにもかきたるも松
 00 47 | 14 そこはかとなくそこはかへとなく松
 00 48 | 01 すちをすちをは秀
 00 48 | 01 かきえたるはかきへたるは尼
 00 48 | 01 ふてきえてふてへかさらぬはきえ(えて)て、
 ノ上カラえヲ書キサラニえヲ傍記カ」飯
 00 48 | 02 ひとたひひとたち秀ひ(ひ)とたひ尼
 00 48 | 02 よりけるよ「か」りける徹
 00 48 | 02 はかなきははかなき秀
 00 48 | 04 えたのむましくえたのんましく「トルカ」
 松
 00 48 | 04 おもふ給へておもふたまへえて松三明吉
 理思給へて池尼歴思給へへえ歟て池思給
 へえて尼おもふ給て飯※

00 48 04 侍るその侍そ^トの「ミセケチニシテ」无^ト傍
 記松侍その「□ノ上カラのヲ書ク」吉※
 00 48 04 はしめはしめめ秀「は」しめ吉
 00 48 05 中将 中将は秀
 00 48 05 いみしくいみしう「くヲ削ッテうヲ書ク」
 尼
 00 48 06 のりの師ののりの^ト「し」の理
 00 48 07 ついては ついてには肖徹正飯 ついて「に」は
 飯
 00 48 07 をの^ノをの^ノの肖徹をのへかし^ノ
 イ^ノ飯
 00 48 07 なんなり秀
 00 48 08 いとナシ肖徹証正
 00 48 08 下らうに^ノけらふ^ノに吉
 00 48 08 人侍き人侍理
 00 48 08 やうに^ノ様に吉
 00 48 09 まほにもまをにも松池三明吉尼歴飯※
 00 48 09 侍らざりしかは侍^ノざりしかは明※
 00 48 09 すき心には^ノすき^ノちには松池秀肖三吉尼
 歴徹証正飯^ノすき心ちは理※
 00 48 10 侍らす侍す明
 00 48 10 まぎれ侍しを^ノまかれはへりしを理
 00 48 11 心つきなく心月なう「尼ハくヲ削ッテうヲ書
 ク」池秀尼歴
 00 48 11 か^ノらて^ノか^ノらても秀
 00 48 11 おいらか^ノおいらまか秀
 00 48 14 侍て侍^ノて明
 00 48 14 心おさめらる^ノ心さめらる^ノ秀
 00 48 14 やうに^ノ様に吉

00 48 14 この女のこの女吉
 00 48 14 おもひいたらざりける^ノ思いたざ^ノらざり
 ける吉
 00 49 01 ためには^ノためにいと「尼ハいニ削訂カ」松
 吉尼飯^ノためにへいと明
 00 49 01 なきてをいたしなきていをいたし飯
 00 49 02 つけてもの^ノつけてもの^ノ「ミセケチニシテ
 「无」ト傍記」松※
 00 49 04 す^ノめる^ノすくめる松吉歴飯す^ノクイ^ノめ
 る三
 00 49 04 とかくにとかく吉
 00 49 04 なひきて^ノなひきて証
 00 49 04 なよひゆきなよひすき秀^ノなよひ^ノイ^ノゆき
 「ヨイカ」肖
 00 49 04 かたちをもかたち^ノをも秀
 00 49 05 わりなく^ノはりなく正
 00 49 06 思はんと見えんと池理^ノ思はれんと肖三徹証
 正思はれ^ノ見え^ノ本^ノんと三^ノみ^ノをも^ノはん
 と「えヲは二直スカ」尼※
 00 49 06 は^ノかり^ノは^ノかり松
 00 49 06 心も^ノ心も徹
 00 49 07 なん^ノナシ松
 00 49 07 おもひ侍し^ノ思侍秀
 00 49 08 したかひ^ノしたかひかひ池^ノした^ノか^ノひ徹し
 たひ証
 00 49 08 人なめり^ノ人なめり明
 00 49 09 ま^ノこと^ノにうしなともおもひて^ノナシ秀
 00 49 10 心ならば^ノ心なうは秀
 00 49 11 思給へえて^ノ思給えて池^ノ思給へて秀尼^ノ思給

て肖徹証正^ノ思ひ給へえて三^ノ思ふ給へえて明
 理^ノおもふたまへて吉歴^ノ思給へて尼^ノおも
 ひ給て「補入アルカ」飯^ノおもふ^ノひ^ノ給へえ
 て理※
 00 49 11 なさけなく^ノなさけなくて吉
 00 49 12 ゑんするに^ノゑんするを池^ノゑんするに^ノを
 本^ノ三^ノゑんするに^ノをヲ削ッテにヲ書ク「尼」ゑ
 むするに^ノはイ^ノ理
 00 49 12 かく^ノナシ松吉
 00 49 12 おそましく^ノおそまては吉
 00 49 12 いみしき^ノいみしう歴
 00 49 13 みし^ノ補入「朱」大
 00 49 13 ものうたかひは^ノもの^ノうたかひは飯
 00 49 13 ゆくさき^ノえさき「えハ行ノ誤写」秀
 00 49 13 みえむと^ノみんと肖^ノへみゑんと吉
 00 49 14 うせなは^ノかせなは理
 00 50 01 おとなひんに^ノおとなひんに松
 00 50 01 そへても^ノそへても大^ノそへて「尼ハてノ
 下ノもヲ削ル」松池秀肖三明吉尼歴徹証正飯
 理
 00 50 02 ならふ人なく^ノならふ人なく理
 00 50 02 やうなと^ノやうなと池秀やう^ノ本^ノ無^ノなと三^ノへや
 う^ノなと尼
 00 50 02 思給へて^ノ思給て肖徹証正^ノ思給へて尼
 00 50 03 我たけく^ノわれたけく松秀明※
 00 50 03 いひそし侍に^ノいひそし侍に証
 00 50 04 のとかに^ノのた^ノかに吉
 00 50 05 おもひなをらん^ノおもひなへをらん吉
 00 50 05 みつけんと^ノみつけん秀歴証^ノみつけんと^ノと

ヲ削ツテとヲ書ク」尼※
 00 50 05とし月を(年)月を肖
 00 50 06あいなたのみはいとくるしくなんあるへけれ
 はかたみにあいなたのみはいとくるしくな
 んあるへければかた身に □本」や秀
 00 50 06かたみにかたみは(に)池
 00 50 07いふにいふ時に池理いふ(時 本)に三
 ふ時に尼
 00 50 07にくけなるに(く)けなる秀
 00 50 10つけてかはつけてか歴
 00 50 11身きさみ肖
 00 50 11なとと吉
 00 50 11こそはこそ松こそ(は)池
 00 50 11なめれとなめれと松なめれと(徹)※
 00 50 13えうらみし(えい)うらみし肖
 00 50 01いひしろひいひしろひて吉
 00 50 02侍しかと侍しにかと歴
 00 50 02まことにはまことに秀歴
 00 50 02かはるへきかはる(わかるい)へき肖
 00 50 02思給へすおもひ給へす肖三証飯
 00 50 03りむしのまつりのりんしぎやくのまつりイ
 の松(りむ)のまつりの明臨時祭の吉
 00 50 03てうかくてう(う)か(く)「朱」大
 00 50 03夜ふけてよふけて松徹正ナシ秀
 00 50 04いみしういみしく吉
 00 50 04夜よ明吉正理
 00 50 04これかれかれこれ「これヲかれノ前へ移ス符
 号アルカ」吉
 00 50 04まかりあかるまかりあかれ(る)理

00 50 05たひねたひねも肖尼徹証正たひね(も)
 尼
 00 50 05すさまじかるへくすさまじかり(る)へく
 飯
 00 50 06おもふ給へられ思たまへられ松池秀明尼歴
 徹飯理思給はれ吉※
 00 50 06おもへるとおもふへきと肖
 00 50 07うちほらひつうちほらひつまかて、肖
 徹証正
 00 50 07なまわろくなまわろく松秀肖三明吉尼
 証正飯なまにろく「にカ」理※
 00 50 07こよひ今夜松
 00 50 08とけなむととけんと秀
 00 50 08思給へしにおもふ給へしに秀明飯理思給へ
 し(ほと)に肖思給しに吉思給へしに尼お
 もひ給へしに歴※
 00 50 08かへに(かへに)飯
 00 50 09こに(こに)三
 歴
 00 50 09うちかけてうちかけてこよひはかりと
 てナシ吉
 00 50 09ひきあくへきもの、かたひらなとうちあけ
 00 50 10うちあけてうちかけて歴ちあけて理
 00 50 10さうしみ御うら(さうし)み秀
 00 50 11女房女房「□ヲ削ツテ房ヲ書ク」尼
 00 50 11とまりてとまりて松吉とまて理
 00 50 11おやの家にこのよさりなんこのよさりなんお
 やのいゑに松をやの家にこのよさり吉
 00 50 11わたりぬるわたり待ぬる松にたりぬる「に

カ」理
 00 50 12こたへ侍りこたへはへる「るカ」飯
 00 50 12よますよませす池秀尼
 00 50 13あへなきあやなき松三吉
 00 50 13あへなき…00 50 03そむきもせすととし月
 のとけくみ給へをきし心はえなれととかく心
 やましきまにひ侍しかと秀
 00 50 02あらまほしくてあらまほしうて松あらまほ
 しくて「くノ上カラクヲ書クカ」尼
 00 50 02わか我「トルカ」松肖三吉徹正われ証
 00 50 02みすてんみすてん松池肖三明尼歴徹証正
 飯理身をすて、む吉見すててん歴※
 00 50 03やうは様は吉
 00 50 03思ふ給へて思たまへて松三吉歴思給て肖徹
 証正おもひたまへて飯
 歴
 00 50 03とかくいひ侍しをそむきもせすとナシ
 00 50 03侍しをはむへりしを吉
 00 50 04せすとせす池肖三尼徹証正理
 00 50 04まとはさむまといさむ「いカ」秀
 00 50 04か、やかしからすか、やしからす歴正
 飯
 00 50 04いらへつ、いてつ、吉
 00 50 05た、ナシ吉
 00 50 05ありしなからはえなんみすくすましき(あ
 りし心なからはえなん見すくすま)しき池
 ※
 00 50 05ありしなからはありし心なからは「尼ハ□ヲ
 削ツテ心ヲ書ク」池秀肖尼歴徹証正

00 52 | 05 おもひならはなん | おもひなから(ら)はなん
 「朱」大思ならは(なん)吉
 00 52 | 06 なんと「と」一部ヲ削ッテ「ナシ書クカ」
 尼
 00 52 | 06 えおもひはなれしと | え「思ひ」はなれしと
 秀おもひはなれしと飯
 00 52 | 06 しはし | しはしはし徹
 00 52 | 06 思給へしかは | 思給しかは松 | おもひ給へしか
 は肖三証理 | おもひ給しかは飯
 00 52 | 07 こらさむの「こら」さむの「ろ」下ニ小サ
 ク「同」トアリ」尼
 00 52 | 08 おもひなけきて | 思なきて秀
 00 52 | 09 おもひ給へ | 思たまへ松池秀三明吉歴徹正
 理 | 思給「次項参照」尼
 00 52 | 10 いてらるゝ | いてらるゝ「はヲ削ッテ」イ書
 ク「池」いてらるゝ | なん吉 | いてらるゝ「へいヲ
 削ッテ」イ書ク」尼
 00 52 | 10 まことの大事をも | ナシ池 | まことの大事をも
 (本無)三「まことの大事をも」「まことの大事
 事」□□ヲ削ッテ書ク」尼
 00 52 | 11 おとるましく | □とるましく「おカ」秀
 00 52 | 11 そのかたもくして | そのかた(を)もく(も)と
 ゝ(して)飯
 00 52 | 12 うるさく | うるさ(せ歎)く松
 00 52 | 12 おもひいてたり | 思(い)てたる(けしき也)「り
 ヲ削ッテる二直ス」飯
 00 52 | 12 中将「中将」秀
 00 52 | 12 そのナシ池秀三歴 | その「ミセケチミエズ」
 三「その」尼

00 52 | 13 のとめてとゝめて歴
 00 52 | 13 あえまし | あらまし松吉 | あらえまし吉
 00 52 | 13 けに | ナシ松吉
 00 52 | 14 はかなき | はかなきに池
 00 52 | 14 いふも | いふ(と)も松
 00 52 | 14 はか | しまぬは露のはえなくきえぬるは
 か | しまぬは露のはえなくきえぬる「か
 らぬはノは毛補入カ」吉
 00 53 | 01 さあるにより | さるにより池三尼 | さあるによ
 り三
 00 53 | 01 世とは | わきなりとは秀 | 世そとは肖徹証正
 理 | 世そや(とは)歴
 00 53 | 02 まかり | より松
 00 53 | 03 心は | せまことに | ナシ秀
 00 53 | 03 は | しりかき | はしりかた(き)理
 00 53 | 03 かい | ひくか「い」ひく秀
 00 53 | 04 て | つきくちつき | なたと | しまらすみきゝ
 わたり | 付き | へおほめ | かしからす | てつきくち
 つき | なたと | しまらすみきゝ | わたり | 付き
 飯
 00 53 | 04 て | つきくちつき | ナシ肖徹証正 | 手つき口つき
 証
 00 53 | 04 みな | ナシ吉
 00 53 | 04 ことも | なく | ことなく吉
 00 53 | 05 さ | かなものを | さかのものを | 理
 00 53 | 05 み | 侍し | ほとは | ことなく | 心と | まり | 付き | 侍し | 程
 に秀
 00 53 | 05 み | 侍し | 見 | 侍し | 明
 00 53 | 06 こ | よなく | いと | こよなく | 尼ハ□□ヲ削ッテ

とヲ書ク「池三尼」(いと)こよなく三
 00 53 | 06 心と | まり | 付き | 心と | まり | 侍「り」 | き理
 00 53 | 06 後 | のち(は) | 尼
 00 53 | 06 い | かゝ | は | せむ | い | かゝ | せむ | 証
 00 53 | 07 し | は | しまし | 吉
 00 53 | 07 ま | かり | なるゝ | には | まかり | なるゝ | には | へ | た | い | 松 | まかり | なるゝ | には | 池 | まかり | なるゝ | へ | ま | ぎ | には | 肖 | なるゝ | には | 飯
 00 53 | 08 う | ち | た | の | む | う | ち | た | の | ん | 松
 テはヲ書ク」尼
 00 53 | 08 み | せ | 侍 | み | せ | 侍 | へ | し | 尼
 00 53 | 09 神 | 無 | 月の | 神 | な | 月 | 秀
 00 53 | 09 ま | まで | 旧 | まで | 大 | まで | 「り」 | ノ | 上 | カ | ラ | テ | ヲ | 書ク | 松
 00 53 | 10 家 | に | 家 | へ | 池 | 歴 | 証 | 家 | に | 「へ | ヲ | 削ッテ | には | ヲ書ク」
 尼
 00 53 | 11 こ | の | 人 | 此 | 人 | の | 肖 | 徹 | 証 | 正
 00 53 | 11 ま | つ | ら | む | や | ま | つ | や | ら | む | や | 吉
 00 53 | 11 な | ン | ナシ | 池
 00 53 | 11 あ | や | し | く | あ | や | し | う | 吉
 00 53 | 11 くる | し | ぎ | と | て | くる | し | ぎ | へ | と | て | 明
 00 53 | 12 と | て | ナシ | 松 | 秀 | 吉 | へ | と | て | 三 | 飯
 00 53 | 12 こ | の | 女 | の | 家 | こ | の | 女 | 家 | 明 | 理 | ※
 00 53 | 12 は | た | い | (は) | た | 秀
 00 53 | 12 よ | き | ぬ | み | ち | よ | き | ぬ | 道 | (所) | 尼
 00 53 | 13 す | き | む | も | み | す | き | む | も | 吉

00 53 | 13 かしもとよりさる心をかはせるにやありけ
 んナシ秀
 00 53 | 13 さる心をへさる心徹
 00 53 | 14 らうのらう「のアルカ」証
 00 53 | 14 いたくすゝろきていたうそゝろきて松肖徹
 証正理(いたういたく肖徹証正理)
 00 54 | 01 月を月(を)明※
 00 54 | 01 うつろひわたりうつろひわたりて松池肖三
 吉尼歴徹正理うつろひたり秀うつろひてわ
 たりて飯
 00 54 | 02 あはれとけにあはれけに秀吉
 00 54 | 02 ふえふは(え)秀
 00 54 | 03 かけもよしなとけもよしなしと飯
 00 54 | 03 しらへとゝのへたりけるうるはしくかきナ
 シ飯
 00 54 | 04 とゝのへたりけるとゝのへたりけるへを
 尼
 00 54 | 04 かきあはせたりしほとかきあはせたり□「擦
 レ」秀※
 00 54 | 04 あらすかしあらしかし歴
 00 54 | 04 りちのしらへは律のしらへは松吉
 00 54 | 05 女の女の「女ノ前、補人符号ト傍記かゝるヲ
 削ル」尼
 00 54 | 05 かきならしてかきならして「ミセケチカ」
 松
 00 54 | 05 すのうち「み」すのうち秀
 00 54 | 07 なけれなとなけれ(な)と三
 00 54 | 07 ねたますねたまはす秀
 00 54 | 07 きくをきく(くを)吉

00 54 | 09 ことのねも琴のねも理
 00 54 | 09 月もえならぬ月(きく)もえならぬ「尼ハ傍
 記ノ下ニ「同」トアリ」秀尼(月(菊)もえな
 らぬ飯
 00 54 | 09 つれなき人をつれなき(人)を吉
 00 54 | 10 ある時ある時に池秀尼理ある時へに 本
 三
 00 54 | 11 あされかゝれはあされかくれは「尼ハノ上
 カラクヲ書クカ」池秀肖尼歴徹証正理あされ
 かゝ(く 本)れは三
 00 54 | 11 こゑいたういたくこゑ「尼こゑいたうヲ削ッ
 テ書クカ」松三明吉尼飯理(いたく)いたう三
 明吉尼飯理(こゑ秀)いたうこゑ「こゑヲいた
 うノ前ニ移ス「本」ノ傍記アリ」三※
 00 54 | 12 吹あはすめるふきあはすめる秀※
 00 54 | 12 ふえのねを虫(ふえ)のねを松
 00 54 | 12 ことのはそなきとことのはそなきなと
 肖
 00 54 | 12 なまめきなまめき□ヲ削ッテまヲ書ク「松な
 まき(め)吉
 00 54 | 13 かはずにかはずへに「三」かはず証
 00 54 | 13 さうのことしやうのこと松
 00 54 | 13 しらへてしらめて証
 00 54 | 13 いまめかしくいまめかく(し)く秀
 00 54 | 14 し侍し(へ)侍し歴
 00 55 | 02 をかしくもおかしうも池秀尼歴
 00 55 | 03 おもふ給へんには「思たまへんには松池秀肖
 明吉尼歴徹正飯 思ひ給へんには三証※
 00 55 | 03 たのもしけなく「たのもしけなく」秀

00 55 | 03 その夜そのよ松明吉正飯
 00 55 | 03 事にことつけてことにつけて理
 00 55 | 04 おもふ給へあはするに「おもひたまへあはす
 るに松」思給あはするに池吉「思給へあはする
 に尼歴徹正 おもふまへあはするに理※
 00 55 | 05 心にたに心たに徹
 00 55 | 05 いとあやしく(いと)あやしく明
 00 55 | 06 おもふ給へ「思たまへ松池明歴徹正理 おほえ
 給へ秀」思ひ給へ肖三尼証「思給吉飯※
 00 55 | 07 みるみゆる松池秀肖三吉尼歴徹証正飯
 理
 00 55 | 07 あられあはれ「はらノ誤写」明※
 00 55 | 07 などのナシ理
 00 55 | 08 すきしき(さ)理
 00 55 | 08 おほさるらめ「おほさるらめ」しノ上カラさる
 らヲ書ク「吉」おほえさるらめ理
 00 55 | 09 あまりかほとにあまりほとに□ヲ削ッテほ
 とヲ書ク「飯
 00 55 | 09 はへなんはへりなん松秀「陵はへ」なん池侍
 なむ肖三吉尼歴徹証正※
 00 55 | 09 すきたはめらむすきたえめらむ池「すきはめ
 らむ理
 00 55 | 10 女に女には肖徹正 女には三
 00 55 | 10 あやまちあやまち明
 00 55 | 11 すこしすこし理
 00 55 | 11 かつたゑみて「かつたえ(ゑみ)て秀
 00 55 | 11 事とは事と松
 00 55 | 12 人わろく人わろく松秀肖三明吉尼徹証正飯
 理

00 55 | 13 中将 中将は「はヲ削ルカ」徹
 00 55 | 13 なにかしはなにかしは「かハナゾリ書キ」
 歴なにかしか(は)証なにかししは「しか
 ヲ削ツテかしヲ書クカ」飯
 00 55 | 13 しれものゝしれ「ものゝ」明
 00 55 | 13 物かたりを「かたりを理
 00 55 | 14 みつへかりし「みつへき池三理」みつへかりし
 (き)三「みつへかりし」□□けヲ削ツテへかり
 しヲ書ク、次項参照」尼
 00 55 | 14 けはひ「へ」はひ尼
 00 55 | 14 なからふへき「さてなからふへき秀
 00 56 | 01 おもふ給へ「思たまへ松池秀肖三明吉尼歴徹
 証」おもひたまへ「正飯理」※
 00 56 | 02 思給へしを「おもひ給へしを肖三証」思給へしを
 飯「おもふ(ひい)給へしを理
 00 56 | 02 うちたのめる「うちたのめ」へ 本「る三
 00 56 | 02 けしきも「けしきへな」とも「尼」けしき証
 00 56 | 04 やうにて「様にて吉
 00 56 | 04 かう「ナシ吉
 00 56 | 04 おもひたらす「思たらす」「らニミセケチカ」
 肖
 00 56 | 05 もてつけたらむ「つけたらん秀
 00 56 | 06 なとも「なと秀へな」とも「歴
 00 56 | 06 いと「いと」吉「ナシ証
 00 56 | 06 心ほそけにて「心くるし(ほそ)けにて吉
 00 56 | 07 ふれて「ふ」れて秀
 00 56 | 07 さまも「けしきも池三理」さま「けしき」も三「さ
 ま」(けしき)も「別筆カ」明「さまも」(も)「けし
 きもヲ削ツテさまもヲ書ク」尼

00 56 | 08 うたて「らうたて吉
 00 56 | 08 たより「かたより吉
 00 56 | 10 心に「心には松池秀肖三明吉尼歴徹証正飯
 理
 00 56 | 10 ひさしく「ひさしくなり吉
 00 56 | 11 て「ろほそかりければおきなきものなと
 も 補入「朱」大
 00 56 | 11 なたて「この花なく」(て)し「この花秀
 00 56 | 12 おこせたりしとて「をこせたりしかはとて
 池
 00 56 | 12 こととは「こととはと吉
 00 56 | 13 いさや「いさや」「さハ後補」歴
 00 56 | 13 ことなる事も「ことなる事理
 00 56 | 13 なかりきや「なかりきと」「とカヤカ」吉
 00 56 | 14 かきほあるとも「かきをあるとも池」かきほあ
 るとも「をヲ削ツテほヲ書ク」尼
 00 56 | 14 なたて「この露」なたて「このつね(ゆ)理
 00 57 | 01 うらもなき「うらへも」なき池
 00 57 | 01 いとものおもひかほにて「いともの思ひかほ
 にて」「ミセケチヲ削ル」池
 00 57 | 02 露しけきを「つゆけきを徹
 00 57 | 02 けしき「さまけしき歴
 00 57 | 04 色は「いつれと花は「いつれと池肖歴徹証正い
 ろ(花)「本」は「いつれと秀」色(花)「本」は「いつ
 れと三」色は「いつれと」「花ヲ削ツテ色ヲ書ク」
 尼「いろ(花イ)は「いつれと理
 00 57 | 04 わかねとも「わかかねとん松
 00 57 | 04 猶常夏に「なをとこ夏」になつに「明」なをとこ夏
 に「のノ上カラにヲ書ク」歴

00 57 | 05 ちりを「たに」(葵)を「たに」「ヨイカ」飯
 00 57 | 05 袖も「露けき」とも「露けき理
 00 57 | 06 秋も「きにけり」秋は「きにけり徹
 00 57 | 07 まめ「しく」まめ「しき理
 00 57 | 07 みえす「見えて池」※
 00 57 | 07 おとしも「おとし池
 00 57 | 07 いと「へいと」池
 00 57 | 08 みえむ「みむ秀
 00 57 | 10 あとも「あ」と「ヨイカ」証
 00 57 | 10 なく「なう吉
 00 57 | 10 かきけちて「かきけちてこそ飯
 00 57 | 10 さすららん「さへす」らすらむ理
 00 57 | 11 おもひまつはす「おもひま」と「つ」はす「朱」
 大「思まとはす松秀肖三明吉歴徹証正飯理」思ま
 へと「はす松」思まつはす「とヲ削ツテつヲ書ク
 カ」尼※
 00 57 | 11 みえましかは「みえま」しかは飯
 00 57 | 12 あくからさ「らまし」あくからかさ「らまし
 松吉」あくからさ「らまし」池「あくからかさ」
 まし秀「あくからさ」らまし肖「あくからさ」
 らまし理
 00 57 | 12 とたえをかす「とたえをかす」もノ上カラをヲ
 書ク」秀
 00 57 | 12 しなして「なして吉
 00 57 | 13 たつねむと「たか(つ)ねんと飯
 00 57 | 13 おもひ給るを「思たまへるを松」思給ふるを池
 秀肖明尼歴正理「思ひ給ふるを三証飯」思給る
 を吉徹※

00 57 | 14 いまもいまに池秀肖三歴徹証正いまも「に
 ヲ削ツテもヲ書クカ」尼いまも(にイ)理
 00 57 | 14 きゝつけ侍らねきゝつけはへらぬ理
 00 57 | 14 のたまへるのたまつる池歴の給つる肖三尼
 徹証正の給ひつる「ひニ書入アルカ」三のた
 まへひつる「へヲ削ツテつヲ書クカ」尼
 00 58 | 01 おもひけるも思けるをも池秀肖三尼歴徹証
 正思けるをも三おもひけるも(を)理
 00 58 | 02 かれはたかれへははた尼
 00 58 | 03 人やりならぬ人やりへならぬ飯
 00 58 | 03 むねこかるゝむねこるゝ理
 00 58 | 03 ゆふへゆふへ秀ゆへ吉
 00 58 | 03 おほえ侍おほえ侍(ル)理
 00 58 | 04 おもひいて思はて吉
 00 58 | 04 かにかたは肖歴徹証正
 00 58 | 05 わつらはしくわつらはして松
 00 58 | 05 よくせすはよくせすは明
 00 58 | 06 ことのねことのねの秀肖徹証正ことのねの
 三琴のねの徹
 00 58 | 06 すゝめけんすゝめりけん秀肖歴徹証正理す
 ゝめ(みイ)りけん三すゝめ(□)けむ(□)ハ
 文字ヲ削ツタ跡」尼すゝめり(みイ)けむ理
 ※
 00 58 | 06 かとくしきもかとくしきも秀
 00 58 | 06 つみに池秀つみに尼※
 00 58 | 07 心もとなきも心もとなき秀ころもとなきも
 「ころハこゝろノ誤写」明心もとなきへも徹
 ※
 00 58 | 07 つるに「いノ上カラるヲ書ク」尼

00 58 | 07 おもひきためす思ひきたます徹
 00 58 | 08 かくこそかくそ肖徹証正かくこそ三
 00 58 | 09 とりくしとりつくし歴とりくるし理
 00 58 | 09 いつこにかはいつこにか松吉歴いつこにか
 は秀肖証正いつこにか徹
 00 58 | 10 ほうけつきくすしからむほうけつきてすし
 からむ吉
 00 58 | 10 わひしかりぬへけれわか(ひ)しかりぬへけ
 れ肖
 00 58 | 11 わらひぬわらひぬ松はらひぬ理
 00 58 | 11 せめらるせめらる(仰せらる)理
 00 58 | 12 しのなかにはしもの中松秀肖三明尼徹
 証正飯しもの池しもの中本無には三し
 も(のなか)には尼しもかしもには理
 00 58 | 12 所所(は)尼
 00 58 | 12 いへといへは「尼ハとヲ削ツテはヲ書ク」吉
 尼
 00 58 | 12 頭の君頭のきみか池
 00 58 | 13 おそしとをそし(と)池
 00 58 | 13 なに事をなにかを肖証正なに事をかは
 徹
 00 58 | 13 文章の生に文章生に松尼もんしやうのしや
 うに秀文上の生に明理文章の生に尼文章
 の生に「上ヲ削ツテ章ヲ書クカ」飯
 00 58 | 14 ためしをためしを飯
 00 58 | 14 むまのかみのむまのかみ秀馬頭の肖三吉徹
 証正
 00 58 | 14 申給へる申給つる歴
 00 58 | 14 やうにナシ秀

00 59 | 01 おほやけことおほやけのこと吉おほやけ
 こと飯
 00 59 | 03 ちあかすへくなんちあかすへくもなむ
 松理
 00 59 | 04 まかりかよひしまかりかよひ侍し秀
 00 59 | 04 き給てき給へて池秀三明吉尼歴飯理き
 へ徹
 00 59 | 05 侍しを侍し也池秀侍し也を □本秀
 00 59 | 05 さかつきさき月池
 00 59 | 06 うたふをうたかふを飯
 00 59 | 06 なんナシ吉
 00 59 | 07 あはれにあはれと「とニ削訂カ」尼
 00 59 | 08 かたらひにもかたへらひにも理
 00 59 | 08 さへつきさへつき吉
 00 59 | 09 かなかな松吉
 00 59 | 09 もの物を肖証
 00 59 | 10 えまかりたえてえまかりた(えて肖え
 まかりた□て「えカ」正
 00 59 | 11 つくるつくる松
 00 59 | 11 おんはおもむけは吉息は徹おん証
 00 59 | 12 うちのまむにはうちのまんに松池秀肖
 三尼歴徹証正理うちのむに吉飯(うち)た
 のまむに歴
 00 59 | 12 なまわるならむふるまひなとみえむにかた
 わなるさま見えむにまひなとみえむに「なま
 わろならんふるヲ削ツテ書ク」飯
 00 59 | 12 なまわるならむなまわる秀
 00 59 | 13 はつかしくはつかしく秀
 00 59 | 13 なんへなん池

00 59 | 13 みえ侍しへみえ侍し尼
 00 59 | 13 君達きむたち松池秀明尼歴飯理きむ(み)たち理※
 00 59 | 13 御ため御ためにはさしも肖
 00 59 | 14 したたかなるしたしかなる「後出しハノ誤写」明※
 00 59 | 14 御うしろみは御うしろみ証
 00 59 | 14 なに、かなに、かは肖尼徹証正なに、かはニ
 00 59 | 14 はかなしはかなく証
 00 59 | 14 みつ、も見つ、歴
 00 60 | 01 我心につき我心につく徹
 00 60 | 01 おのこしもをのこ、も「カ」秀
 00 60 | 01 おのこしもをのこ、も「カ」秀
 00 60 | 01 おのこしもをのこ、も「カ」秀
 00 60 | 01 おのこしもをのこ、も「カ」秀
 00 60 | 02 侍める、ハへるめる松尼はへめれ秀、
 「ハ」へめる明理侍へるめる尼※
 00 60 | 03 心はえなから心はえ(え)なから大心(心は)えなから三心はえなかう吉心はら(え)なから「ヨイカ」飯心にえなから理
 00 60 | 03 おこつきておこめきて三飯理おこめ(つ本)きて三(つ)め(め)きて飯
 00 60 | 03 ひぎしくひぎしう徹
 00 60 | 04 侍れは侍は松吉
 00 60 | 04 うちとけるたるうちとけるる池三吉尼飯うちとけぬる秀
 00 60 | 05 侍らて侍へらて松侍て吉
 00 60 | 05 心やましきいと心やましき徹
 00 60 | 05 侍る侍り肖三徹証正理

00 60 | 06 おもひ給るに思たまふるに松池秀明吉尼歴
 徹正思ひ給ふるに肖三証思給るに飯おもふ給ふるに理※
 00 60 | 06 さかし人さから人吉
 00 60 | 06 かるしきかるしき松秀肖三明吉証
 正飯理かるしき徹※
 00 60 | 06 ものえんしすへきものえんすへき吉
 00 60 | 07 おもひとりて思(ひ)とりて池
 00 60 | 08 月ころ：00 61 - 04 あさましと落丁秀
 00 60 | 08 ふひやうふひやう(の)飯
 00 60 | 08 こくねちのこくねつの松三吉徹理こくねつ(ち)の理
 00 60 | 08 さうやくをさうやくをを歴
 00 60 | 09 よりなんよりてなん池より徹
 00 60 | 09 たまはらぬたまはぬ吉
 00 60 | 10 さうしらは雑事等は肖三証正雑事等(ら)は肖さうしとうは徹
 00 60 | 10 うけ給はらむうけ給らん「証ヨイカ」肖証正飯
 00 60 | 10 むへしくうへしく松
 00 60 | 10 いひ侍いひ侍り肖三徹証正いひ侍る理
 00 60 | 11 うけ給はりぬうけ給ぬ肖三証正※
 00 60 | 11 たちいて侍にたち侍に徹
 00 60 | 11 うせなん時にうせなん時「尼ハ時ノ下ノにヲ削ルカ」松吉尼徹うせ(な)ん時松
 00 60 | 12 き、すぐさむもき、すぐさむと理
 00 60 | 12 しはししは、徹
 00 61 | 01 いふかあやなぎいふかあやなぎ証いふかあ

やなぎ(さ)理
 00 61 | 03 ひるまもなにかひるまもいなにか理
 00 61 | 04 などは「後項参照」飯
 00 61 | 04 侍きと、「ハ」つりきと「つハへノ誤写」明は「へりきと飯」※
 00 61 | 04 しつくとしつくと「明ハにハノ誤写」明理※
 00 61 | 04 君達きみたち飯理
 00 61 | 05 さるナシ吉
 00 61 | 05 女か(め)か飯
 00 61 | 05 むかひんかひ「トルカ」松
 00 61 | 05 むくつげきむへくつき徹
 00 61 | 06 いはむかたなしといはむかたなしはむかたなしと徹
 00 61 | 07 よろしからむよからむ「よトかノ間ニ空白アリ」吉
 00 61 | 07 めつらしきめつらしからん(き)歴
 00 61 | 08 をりをる飯
 00 61 | 08 わるものはわつかにしれるかたの事をナシ秀
 00 61 | 08 わつかに「我わつかに肖三徹証正理我(本無)わつかに三
 00 61 | 09 三史五経三史五経松三史五経の肖三徹証正理三史五経飯※
 00 61 | 09 さとりあかささんさとりあさから(さ)む吉
 00 61 | 10 なからめ「か」らめ明
 00 61 | 10 なとかはなとかは松「なにかは池なとか」かノ下ノはヲ削ル」尼※

- 00 61 | 11 いらすへ(いらす)秀
- 00 61 | 11 まねはねとまねはねとも池秀肖三尼歴徹証
- 理まねはぬ(ね)とも肖まねはねとも三ま
- ねはすとも正
- 00 61 | 12 すこしもすこし松証
- 00 61 | 13 さるまゝにはさるまゝにと徹
- 00 61 | 13 まむなをまむなを「まノ下ノ補入符号ト傍記
- ヲ削ル」尼
- 00 61 | 13 とちなか池とち(なか 本)三とち「□□
- ヲ削ツテとちヲ書ク」尼なと理
- 00 61 | 13 かきすくめたるかきすくめたる松池秀明吉
- 尼飯理かきすく(す 本)めたる三※
- 00 61 | 14 この人のこの人(かたイ)の肖
- 00 61 | 14 たをやかをやか肖
- 00 62 | 01 思はさらめとおもはさらめとも歴徹
- 00 62 | 02 上らうの上らうの「上ノ前ニ補入符号ノミア
- リ」松これは上らうの「尼これはニ付サレタ
- ミセケチヲ削ル」池秀三尼理(これは)上ら
- ふの三※
- 00 62 | 02 なかにも中にも松池秀肖三明吉尼歴徹証正
- 飯理
- 00 62 | 02 事そかしへ(こと)そかし吉
- 00 62 | 04 よみかけたるよみかけ(きイ)たる理
- 00 62 | 04 返し返事証
- 00 62 | 04 えせさらむえせさむら「らカたカ」吉
- 00 62 | 05 さるへきさるへきさるへき吉
- 00 62 | 05 五月五日松
- 00 62 | 06 九日の(九)日の肖「なか月の」九日の「削訂
- カ」飯

- 00 62 | 07 思めくらし思めくらしして松肖明吉徹正飯
- 理思めくらしして三おもひめくらし「しノ下
- ノ補入符号オヨビ傍記テヲ削ル」尼※
- 00 62 | 07 つきなきいと月なき池
- 00 62 | 07 いとなみにいとなみ秀
- 00 62 | 08 あへかりけるあるへかりける三あるへかり
- ける理
- 00 62 | 09 めにめにも三尼めにへも)尼
- 00 62 | 09 などをおしはからすなどをしはからす松な
- とを(を)しはからす「本行をノ下ノ字ヲ削ッ
- テしニツナグカ」尼
- 00 62 | 10 おりから(お)りから池をりも秀※
- 00 62 | 11 よしはみよ(し)はみ池
- 00 62 | 11 なさけたゝさらむなんなさけたゝさらむ
- 徹
- 00 62 | 12 すへて「す」へて秀
- 00 62 | 12 しれらむしられん吉
- 00 62 | 13 すくすへくなんすくなん秀
- 00 62 | 13 君はナシ秀
- 00 62 | 13 人ナシ吉
- 00 62 | 14 御ありさまをみ有さまを徹
- 00 62 | 14 心のうちに「心の中に肖三正
- 00 62 | 14 これにこれは「はニ削訂カ」明
- 00 62 | 14 たらすたえす秀尼理たえ(ラ)す尼(たら
- す)歴
- 00 62 | 14 事なくこともなく徹
- 00 62 | 14 ものし給ける物し給てける肖徹正ものし給
- ひける尼も(の)し給ける飯
- 00 63 | 01 むねふたかるむねふたかる(へ心ちし給)

- 飯
- 00 63 | 02 事ともに(事論)ともに飯
- 00 63 | 02 あかし給つあかしたまふつ尼
- 00 63 | 02 からうして「からうして証
- 00 63 | 03 給へりたまへり「はノ上カラリヲ書ク」
- 尼
- 00 63 | 04 けたかくナシ秀
- 00 63 | 04 所所も松吉
- 00 63 | 05 猶(猶)池
- 00 63 | 05 かの人人々のすてかたくナシ秀
- 00 63 | 06 うるはしきうた(る)はしき飯
- 00 63 | 06 はつかしけにはつかしけにのみ肖徹証
- 正
- 00 63 | 07 中つかき中つかきの理
- 00 63 | 07 へとらぬ理
- 00 63 | 07 をしなへたらぬをしなへたえぬ飯をしなら
- へたらぬ理
- 00 63 | 08 わか人わかひと吉
- 00 63 | 08 たはふれ事なとたはふれこと池三尼たはふ
- れことなと三たはふれ事と理
- 00 63 | 08 あつさにあつま(さ)に明※
- 理
- 00 63 | 09 かくナシ松池秀肖三明吉尼歴徹証正飯
- 00 63 | 09 給へれば給れば秀
- 00 63 | 09 み木丁御き丁松肖三明吉徹証正飯理
- 00 63 | 10 へたてへたて(て)「朱」大※
- 00 63 | 10 おはしましておはしまして(御なをしはかり
- はかなくひき給ひて)飯
- 00 63 | 10 給をたまふ松※

00 63 10 人々わらふへ人くわらふ池
 00 63 11 よりよりる松
 00 63 12 くらくくらく(う)理
 00 63 12 こよひこよひ「ろヲ削ツテひヲ書ク」尼
 00 63 12 きこゆきこゆ(を)飯
 00 63 12 さかしさから(し)吉
 00 63 13 たかへんたかへむと理
 00 63 13 いといといと松といと吉
 00 63 14 にとて「と」て松とて肖※
 00 63 14 おほとこのこもれり御とのこもれり松
 00 63 14 あしきあやしき秀
 00 63 14 きのかみ紀伊守松吉
 00 64 01 つかうまつるつかまつる松
 00 64 01 人の人徹
 00 64 01 わたりなるわたりなり「後出りハるノ誤写」
 明※
 00 64 01 家なん(家なん)池
 00 64 02 すしきかけにすしけに秀
 00 64 02 よかなりよう(か)なり池ナシ秀よかむな
 り理
 00 64 02 いれつへからむいれつへきからむ明
 00 64 03 御方たかへ所御かたかへの所秀御かたかへのところ尼
 00 64 04 ふたけてふたけて吉
 00 64 04 ほかさまへとほかさまへ肖
 00 64 05 きのかみ紀伊守吉
 00 64 05 おほせ事おほ「とカ」歴
 00 64 05 うけ給なからうけたまはりなから松池明吉
 尼歴徹飯うけた給はりなから秀

00 64 05 しりそきてナシ秀しそきて肖三尼徹証
 正しへり本そきて三(り)そきて「しり
 そきてノリヲ削ツテシヲ長クシ、リヲ傍記」
 尼
 00 64 06 なんなど秀
 00 64 06 所に所にて松
 00 64 07 侍れは侍は吉
 00 64 07 なけくをなけて(く)を理
 00 64 07 ちかゝらむちかへかゝらむ松ちかならむ池
 尼ちかゝ(な本)らん三ちかゝならなむ
 理
 00 64 08 うれしかるへきうれしかるへへき「ヨイカ」
 秀
 00 64 08 とをき「と」をき秀
 00 64 08 たひねたつ(ひ)ね「朱」大
 00 64 08 心ちすへきを徹
 00 64 08 そのその「のその上カラそのヲ書ク」秀
 00 64 09 おまし所にもおまし所に徹
 00 64 10 ことくしからぬことくへしからぬ
 松
 00 64 11 御ともにも御ともにも徹
 00 64 11 むつましきいとむつましき徹
 00 64 11 おはしましぬおはしぬ吉
 00 64 11 にはかにとかみにはかにと池秀肖三吉尼徹
 証正飯理(かみ)にはかにと三吉かみにはか
 にもと歴
 00 64 12 心殿の心(しん)殿の飯
 00 64 12 東おもてひむかしをもて「他本」尼証飯
 00 64 12 御しつらひしたり御しつらひたり徹

00 64 13 をかしくおかしう池秀歴をかしく「うヲ削ツ
 テクヲ書ク」尼
 00 64 13 みなかいゑたつゑ中(家)たつ吉
 00 64 13 せむさいなとせんさいに証
 00 64 14 心とめて心とめて池秀肖三尼理(心)とと
 めて三
 00 65 01 ほたるほたるの吉
 00 65 01 人々人くは「は後補カ」尼
 00 65 01 いつみにいつみへ池
 00 65 02 もとむともとんと「トルカ」松
 00 65 03 中のしななかのしな秀吉
 00 65 03 とりいてとり「い」て明
 00 65 03 このなみこのみ「補入アルカ」証
 00 65 04 きをき給へるむすめなればゆかしくてナ
 シ飯
 00 65 04 給へるむすめなればゆかしくてみとめナ
 シ秀
 00 65 05 におもてにそにおもてにその松
 00 65 05 みとめみとめ歴
 00 65 05 きぬのきぬ(の)三きぬの「のへノミセケチ
 ヲ削ル」尼
 00 65 05 をとなひをとなひ(ひ)松
 00 65 06 こゑともこゑとも吉
 00 65 06 しのひてしのひて秀
 00 65 06 わらひなとするけはひものいひゑわらひな
 とするけはひ池物いひゑわらひなとするけ
 はひ「尼ハものいひゑニ削訂」秀尼理(物)いひ
 ゑ本(わらひ)とするけはひ三(わらひ)なと
 するを(けはひ)明(わらひ)とする徹

00 65 | 07 かうしを | かうしは「うしをヲ削ッテうしはヲ
書ク」尼
00 65 | 07 心なしとむつかりて | 心なしとんつかりて「ト
ルカ」松
00 65 | 08 すきかけ | すきかけに池
00 65 | 08 やをら | やはら松吉
00 65 | 09 ひまも | ひま池 ひまし肖三歴徹証正理 ひま
も(し)三ひまも(し)「しヲ削ッテもヲ書ク
カ」尼 ひまし(も)理
00 65 | 09 なければ | なければ「朱」大
00 65 | 09 きゝ給に | きゝ給よけむともえうけ給はらす
とかしこまりてさふらふはしつかたのおまし
にに大
00 65 | 10 なるへし | なるし理
00 65 | 11 よすか | よすか秀
00 65 | 11 さう | さうし かむれめさう | さうし かめれ松
池秀三明吉尼徹証正飯理 さう | しめれ肖
※
00 65 | 11 されと | ナシ秀
00 65 | 12 かくれ | ナシ秀
00 65 | 12 おほす事のみ心 | におほすことの御心に
理
00 65 | 13 かゝり給へは | かゝりたまへは松池秀肖三吉
尼歴徹証正飯 | かゝり給へ(れい)は理※
00 65 | 13 まつ | ナシ秀
00 65 | 14 おほえ給 | ことなる事なければ | おほえ給こと
なる事なければ「削訂カ」池
00 65 | 14 給 | 給「ヒ」つ三
00 65 | 14 式部卿の宮の | 式部卿宮の秀肖三証

00 66 | 01 姫君に | ひめきみ松秀
00 66 | 01 なとを | かと松吉
00 66 | 01 すこし | すこし(つ)ニ(すこし)「ヨイカ」
歴
00 66 | 01 ほをゆかめて | ほゝゆかみて松吉 | ほゝゆかめ
て「尼ハをヲ削ッテ、ヲ書ク」肖三明尼徹証正
飯 | なゝゆかめて理
00 66 | 02 うたす | しかちにも | うたす | しかちにも「かノ
上カラんヲ書ク」秀 | 哥す | しかちにて肖
00 66 | 02 ある | かなある | かなと秀歴徹証
00 66 | 03 かゝけ | かゝけそへ理
00 66 | 03 はかり | ナシ秀
00 66 | 04 とはり帳も | とはり帳も松 | とはり長らも
池 | とはり長も明吉飯理 | とはり長うも「らヲ
削ッテうヲ書クカ」尼※
00 66 | 04 心もなくて | は | 心もなくて | は「明誤写カ」明
尼 | 心も「と」なくて | は「のヲ削ッテもヲ書ク」
00 66 | 04 めさま | しまし | きめさま | しまし | き池
00 66 | 05 えう | け給はらす | とえう | け給はら(へす)と三
※
00 66 | 05 おまし | 御まし | 吉をまし「をニ削訂」尼
00 66 | 06 やう | にて | や「う」にて明※
00 66 | 06 人々も | 人 | 証
00 66 | 07 いよの | すけのこもあり | (いよのすけの子もあ
り)吉
00 66 | 08 なかに | 中に松池秀肖三明吉尼歴徹証正飯
理
00 66 | 09 いつ | つれなとゝ | ひ給に | ひとつれなら(と)ゝ(ひ給

に「朱」大 | ひとつれとゝ | ひ給に秀
00 66 | 09 故衛門督の | こゑもんの督の松池肖三明吉尼
正飯理 | (こゑもんのかみの吉 | 故右衛門督の
徹 | えもんのかみの証
00 66 | 10 ほと | に | ナシ飯
00 66 | 10 よすか | によすかにて松
00 66 | 10 かくて | かくて「てノ上カラカヲ書ク」歴
00 66 | 10 つきぬ | へく | つき侍ぬ | へく松池秀肖三明吉尼
歴徹証正飯理
00 66 | 11 侍らぬ | を | は | へらぬ理
00 66 | 11 殿上 | なども | 天上 | なども明飯殿上 | なども
理
00 66 | 11 思ふ | 給へ | 思たまへ松池秀明吉歴徹飯 | 思ふ給
ひ三証 | おもひたまへ | 尼理 | 思給正※
00 66 | 11 すか | しく | しくは松 | すか | しく
しう(は)三 | すか | しく | しう証
00 66 | 12 侍ら | さめる | 侍へら | さ | める池
00 66 | 12 と申 | と申に証
00 66 | 12 あは | れの | あはれの「にノ上カラのヲ書ク」
松
00 66 | 12 此 | あね君 | (この)あね | きみ尼
00 66 | 12 まう | と | ま「う」と「モトハま | ことカ」池 | ま | こと
と秀
00 66 | 12 後の | の | ち吉
00 66 | 12 申に | 申す徹
00 66 | 13 お | や | を | も | を | や | (も) | 尼
00 66 | 14 いか | に | ナシ秀
00 66 | 14 いつ | そ | や | も | 一つ | そ | や | 松池秀肖三明吉尼歴徹
証正飯理※

00 66 14のたまはせし世こそその給はせこそ理
 00 67 01さためなきさためな(ナ)き理
 00 67 01ものなれとものなれと「れノ後ノ補入符号ト
 傍記ヲ削ルカ」尼
 00 67 01ふいにふふいに「朱」大ついに秀ふいに「傍
 記アルカ」飯
 00 67 01ものし侍なりもの、侍也秀ものし侍□なり
 「□ハるヲ削ルカ」尼
 00 67 02いまもいまは(も)「朱」大
 00 67 02侍らね侍らぬ肖歴徹正侍ね明飯理侍ぬ
 証
 00 67 02中につめてもなかについても松吉尼中にも
 池肖三歴徹証正なかに肖三徹証正な(か)
 についても三(な)かに(へ)ついてもニ※
 00 67 03すくせは(す)くせは吉
 00 67 03いとナシ松明吉飯(へ)いと(三)いと「ほとヲ
 削ツテはいとヲ書クカ」尼※
 00 67 03なんとたと松池秀肖三明吉尼歴徹証正飯理
 ※
 00 67 03いよのすけいよのすけは松明吉飯理いま
 (よ)のすけは秀いよのすけは三※
 00 67 04おもふらむなおもふらむ理
 00 67 04いか、はいか、証
 00 67 04こそはこそ「尼ハそノ下ノ補入符号ト傍記は
 ヲ削ル」池肖三歴徹証正こそは三
 00 67 04侍めるを侍なるを理
 00 67 05なむとたと松肖三吉尼徹証正飯
 00 67 06つきくしくつきくしう松※
 00 67 06いまめきたらむにいまめきたる(ら)むに

明
 00 67 06おろしたてんやはをろしてんやは秀
 00 67 07し給てし給つ、池肖三歴徹証正理(つ)へつ
 く池(て(つ)三)し給て「つ、かヲ削ツテ
 ていヲ書ク」尼
 00 67 07しもやにしも(や)に吉
 00 67 08まかりおりあへさらむまかりあへさらん
 松まかりおり(あへ)さらん三
 00 67 08みな人々みな人吉
 00 67 09いたつらふしといたつらふ(フ)しと「にノ
 上カラふヲ書キ、サラニ傍記吉いた(つら)
 ふしと徹
 00 67 09御めさめて御さめて理
 00 67 10きたのさうしのきたのさうしの「のしヤヲ
 削ツテのさヲ書ク」尼
 00 67 11かたならむかたならむと徹
 00 67 11と、めてとめて飯
 00 67 11やをらやはら松吉
 00 67 13まらうとはまらうとは池(さ)まらうとは
 飯
 00 67 13ねたまひぬるかね給ぬるか吉
 00 67 14おもひつるをされと思つるをされと「おもひ
 □□□ヲ削ツテ思つるをされヲ書ク」尼
 00 67 14おもひつるを思ひつるを「別筆カ」明
 00 67 14けとをかりけりけ(と)をかりけり松
 ※
 00 68 01いもうと、い(い)もうと、尼
 00 68 01おほとのもりぬるおほとのもりぬ(ぬ)
 る三おほとのもりぬる「ぬカ」証

00 68 03ならましかはなからましかは池
 00 68 03のそきてのそきても肖
 00 68 03みたてまつりてまし見たてまつらまし秀み
 たてまつりなまし飯※
 00 68 03かほひきいれつるかほひきいれつる松か
 ひきいれつる「ヨイカ」証
 00 68 04ねたうねたく肖徹証正
 00 68 04心と、めても心と、めて池秀肖三歴徹証
 正心と、めても三心と、めて(も)尼
 00 68 04とひきけかしととひきけること秀
 00 68 04あちきなくあちきなく(ひなふイ)飯
 00 68 04はしに(こ)に松池秀肖吉歴徹証正飯理はし
 (こ)本に三はしに「こ、ヲ削ツテはしヲ
 書ク、傍記はしヲ削ル」尼(こ)。(はしイ)に
 理
 00 68 05あななくらあななくら松秀明尼歴飯あなく
 「ら」るし池あななくら(る)し本三あなくら
 「(ら)」「るニミセケチカカルカ」吉あなくら
 し理※
 00 68 05か、けなと、か、けて(な)と松
 00 68 05さうしくちさうしくちに理
 00 68 06中将の君は中将のきみ(は)松
 00 68 06けとをきけとをく肖
 00 68 07しもにゆにしもやにゆに肖徹証正
 00 68 08まいらむと侍とまいらんと飯
 00 68 08しまりたるしまりぬる池三しまりた
 る「□ヲ削ツテたヲ書ク」尼しまりた(ヌ)
 る理
 00 68 08かけかねをかけかね松

00 68 | 09 ひきあげ あげ肖徹証正
 00 68 | 09 木丁を きちやうを歴
 00 68 | 09 さうしくちには さうしくちに吉
 00 68 | 09 火は ひ秀 火(は)尼
 00 68 | 10 からひつ かか(ら) ひつ松※
 00 68 | 10 ものともを ものを吉
 00 68 | 10 なかを 中を池秀肖三明吉尼証正飯理
 00 68 | 11 わけいり給れはけはひしつる所にいり給へれ
 はたゝひとりいと わけ入給へれはたゝひと
 りいと(けわひしつる程により給へれはたゝ
 ひとり)飯
 00 68 | 11 わけいり給れはけはひしつる所にいり給へれ
 は わけいり給てけはひしつる所に 本入
 給へれは三
 00 68 | 11 わけいり給れは わけいりたまへれは松三明
 吉歴 わけいり給て池秀肖尼徹証正理
 00 68 | 11 けはひしつる所にいり給へれは ナシ 『大成』
 明ノ朱筆後補ヲ指摘スルガ、他箇所ニモ朱筆
 書入ハ多イ、飯前項参照』松三明吉歴
 00 68 | 11 さゝやかにて さやかにて池
 00 68 | 12 なまわつらはしけれと 火はほのくらきに
 なまわつらはしけれと飯
 00 68 | 12 きぬ きぬを松池肖歴徹正理 きぬ 『きぬを、
 しやるまでノ、ヲ削ル』尼
 00 68 | 12 をしやるまでをしやるま(ま)て大
 00 68 | 13 中將 中將と徹
 00 68 | 13 しるし しるへ吉
 00 68 | 13 ともかくも ともかうも松
 00 68 | 14 思わかれす おもひわか(れ)す尼

00 68 | 14 おひゆれと おもひゆれと大
 00 68 | 14 かほにきぬのさはりてをとにもたてす ナシ
 秀
 00 68 | 14 かほに(か)ほに池 かをに 『トルカ』明飯
 00 68 | 14 さはりて まい(さは)りて池
 00 69 | 01 ふかゝらぬ ふかゝらぬ 『んヲ削ツテぬヲ書ク』
 尼
 00 69 | 01 ほとゝほと松
 00 69 | 01 み給らん 見たまはむ秀※
 00 69 | 02 としころ ねむらい松 年来吉
 00 69 | 02 心のうちも 心の中も肖三尼徹正
 00 69 | 03 給へと 給へは 『誤写カ』明
 00 69 | 04 けはひ 御けはひ三理
 00 69 | 04 人とも 人のとも肖徹証正 人のとも尼
 00 69 | 05 はた ナシ飯
 00 69 | 05 わひしく わひ(ひ)しく 『別筆カ』明
 00 69 | 05 おもへは 思ひへは秀
 00 69 | 05 あさましく あさましよう松
 00 69 | 05 人たかへに ひとたか(え)に吉
 00 69 | 05 侍めれと 侍るめれと尼
 00 69 | 06 らうたけなれは らうたけなれは松吉 らうたけ
 (な)れは池
 00 69 | 07 み給て み給(て)松
 00 69 | 07 思はずにも 思はずに松吉
 00 69 | 07 おほめい給 おほめ給吉 おほめかい給
 証
 00 69 | 08 よに よも(に)イ肖
 00 69 | 08 みえ ナシ肖
 00 69 | 08 すこしすこし(を)尼

00 69 | 08 ちいさやかなれは ちいさやかなれは 『さハ後
 補』歴
 00 69 | 09 さうしのもと さうしのもとに 『尼ハとヲ削ッ
 テとヲ書クカ、にハ補入カ』秀吉尼飯
 00 69 | 09 いて給にそ 出(給)にそ徹
 00 69 | 10 みちて みちたる池 みる秀 みちて 『□□ヲ
 削ツテてヲ書ク』尼
 00 69 | 11 くゆりかゝる くゆりけるかゝる 『朱』大
 00 69 | 11 思よりぬ おもひ(より)ぬ理
 00 69 | 11 あさましよう あさましく松 あさまし吉
 00 69 | 11 おもひまとはるれと おもひまとはると
 秀
 00 69 | 12 きこえん きこえ(こえ)ん 『朱』大
 00 69 | 14 御むかへ 御んかへ 『トルカ』松
 00 70 | 01 おもふらむ をもはん松※
 00 70 | 02 なやましけなり なやましけなる(り)大 大
 やましけなる松池秀肖三明吉尼歴徹証正飯
 理
 00 70 | 02 いつこいつく肖証正
 00 70 | 03 とうて(り)いて松と(そい)うて吉と
 う(り)て尼※
 00 70 | 03 あはれしるはかりナシ徹
 00 70 | 03 しるし(へる) 『朱』大 しらるゝ松飯 しらる池
 秀三明吉尼理
 00 70 | 03 の給つくすの給つく(く)す 『朱』大 のたま
 ふ(ひ)つくす秀の給(へ)つくす飯
 00 70 | 03 へかめれと へかめれと尼
 00 70 | 05 おほしくたしける (いとかく) おほしくたし
 ける飯

00 70 | 05 御心はへの御心の「尼ハ傍記ヲ削ル」池三尼
徹正御心はへの三

00 70 | 05 おもふ給へさらむ思たまへさらん松吉歴徹
正「さらんへさ」らん吉「思ひふ」たまへさ

らむ尼

00 70 | 05 かやうなるかやうになる池

00 70 | 06 きはきははとこそきはははきははとこそ「朱」
大きはとこそ吉きは「きは」とこそ「は」
きはとヲ削ッテはとヲ書ク「尼へきわ」き

はとこそ理

00 70 | 06 はへなれ侍なれ松肖三吉尼徹証正侍へなれ
「トルカ」池明侍るなれ飯理

00 70 | 06 給へるをへたまへるを松※

00 70 | 07 うしとうらめしと肖徹正うらへめしと
徹

00 70 | 07 きはをきははを松

00 70 | 08 またへまた吉

00 70 | 08 しらぬ思ひしらぬ池秀歴徹証しらぬ「思ヲ
削ッテしヲ書キ、モトモトアッタしニ続ケル」
尼

尼

00 70 | 09 やうもやうもへや尼

00 70 | 10 たてまつるもたてまつる理

00 70 | 11 あやしきあやうき吉あやましき徹

00 70 | 12 事(は)ニ

00 70 | 12 心つきなしとは心つきなしと松

00 70 | 13 みえたてまつるともみへえたてまつるとも
吉みえたてまつるも(と)も理

00 70 | 13 いふかひなきゆふかひなき肖証いひ(う)か
ひなき理

00 70 | 14 つよきつよく松吉つよく(ぎ歎)松

00 70 | 14 心を心をつれなくのみもてなしたりひとか
らのたをやきたるにつよく心を吉

00 70 | 14 しゐてへしゐて歴

00 71 | 02 御心はへ御心そへ秀

00 71 | 02 おもひて思ひて「明」※

00 71 | 02 いとナシ理

00 71 | 04 思へれば思へれば「みたノ上カラ思へヲ書
ク」秀

00 71 | 04 かくかくしも「尼ハ□□ヲ削ッテしもヲ書
ク、理ハしもヲ削ルカ」池尼理かくへしも
イ三

00 71 | 05 給はめたへまはめ秀たはめ理

00 71 | 05 やうにほとに秀

00 71 | 06 うらみられてうらみた(ら)れて松

00 71 | 06 身にてかゝる…00 72 | 04 しはなくに心ナ
シ「補入符号ノミアリ」飯

00 71 | 07 御こゝろはへを御心はえをも松御心はえ
(へ)を尼

00 71 | 07 たのみにてみなをしたのみにてみなをし「て
ノ右下傍記□□ヲ削ル」尼たのみにてもみな
をし理

00 71 | 08 のちせをものちせもやとも池肖歴徹証正
理のち世(せ)を「ミセケチアルカ」秀の
ちせをも(も)やとも 本三「のちせもやと」尼
ハ□□ヲ削ッテもやとヲ書ク「吉尼」のちおも
(せもやと)「とカ」吉

00 71 | 08 おもひ給へ思たまへ松池肖三明尼歴徹正
理思給吉

00 71 | 08 かうかう吉

00 71 | 09 おもふ給へ思給松思たまへ秀おもふ(ひ)
たまへ尼理おもひ給へ証

00 71 | 10 いとことほりなり「ことほりなり」「いとことは
りヲ削ッテことほりヲ書ク」尼

00 71 | 10 とりもと(も)理

00 71 | 11 夜かなよかな松秀肖吉歴証

00 71 | 11 ひきいてよひきいれてよ池ひきてよ
肖

00 71 | 12 御かたかへ御かたへたかへ松※

00 71 | 12 夜ふかくよふかく秀明徹正理

00 71 | 12 かはなとかはと徹

00 71 | 13 いふもありいふ池肖三歴徹証正いふあり
肖いふもあり三「いふへもあり」尼いふもあ
り「もニ合点、りノ横ニ「イ」トアリ」理

00 71 | 13 かくかく「朱」大かたし池肖三尼歴
徹証正理

書ク「秀

00 71 | 13 いかてかいかて徹

00 71 | 14 いとわりなきをわりなきを肖

00 71 | 14 むねいたしんねいたし「トルカ」松

00 72 | 01 きこゆへきぎゆへき理

00 72 | 02 御心のつらさも御心つらさも肖

00 72 | 02 あはれもあはれさも証

00 72 | 02 あさからぬ「又」あさからぬ池

00 72 | 02 よの夜の明吉

00 72 | 03 めつらかなるへきめつらかなるへき「にノ上
カラなヲ書クカ」松

00 72 | 03 けしき 御けしき池肖三歴徹証正理(御)けし
 き三けしき「けノ前ノ御ヲ削ル」尼
 00 72 | 05 しのゝめにきぬ<に徹
 00 72 | 06 御もてなし御(み)もてなし肖
 00 72 | 07 すぐ<しくすき<しく理
 00 72 | 07 心つきなしと心月なしと尼
 00 72 | 07 おもひあなつるおもひあなつ(つ)る「朱」
 大おもひあなつりつる証
 00 72 | 07 いよのかたのいよのかたのみ松池秀肖三吉
 尼歴徹証正飯理※
 00 72 | 08 おもひやられておもひやとれて理
 00 72 | 09 なけくにあかてなけくにあかりて松
 00 72 | 09 ことゝこ(いイ)と、「本力」松
 00 72 | 10 あかくあかく(う)尼
 00 72 | 11 わかれ給ほと「わかれいり給ほと」尼ハいりへ
 ノミセケチヲ削ル」池三尼理 わかれ(いり)給
 ほと三
 00 72 | 11 心ほそく心ほそう松
 00 72 | 11 へたつるせきとへたつる関(のイ)と肖へた
 つる関のと徹正
 00 72 | 12 かうらむに「かうら(うら)むに」朱「大」らう
 らむに徹
 00 72 | 12 そゝきあけていそぎあけて正
 00 72 | 12 のそくへかめりのそくへかめる(り)大の
 そくへかめる松池秀明吉尼歴飯のそくへか
 めり(る) 本三
 00 72 | 13 中のなかの松池吉尼歴
 00 72 | 13 たてたるたてへたる三
 00 72 | 13 こさうし「さうし池尼理」(本無)さうし三こ

しやうし吉
 00 72 | 14 身にしむ身に(し)む松
 00 73 | 01 おさまれるおさまる徹
 00 73 | 01 かけさやかに「かほけさやかに松明吉尼正飯
 「かほかほ(け歟)明かほ「ほ力」吉か(ほ)
 尼」かほけさやかに「ミセケチ墨力」徹
 00 73 | 03 むねいたく「んねいたく松
 00 73 | 03 ことつてやらんことつていれむ池秀歴証こ
 とつけやらん肖ことつてやら(いれ 本)ん
 三ことつてやらむ「いれヲ削ツテやらヲ書ク」
 尼ことつてやらむ(いれんイ)理
 00 73 | 03 なきをとなきを池秀歴証なきをと(本無)
 三なきを(と)尼※
 00 73 | 03 かへりみかちにてかへりみかちに理
 00 73 | 04 給ても給て池
 00 73 | 04 とみにもとみに「にもヲ削ツテにヲ書ク」
 尼
 00 73 | 05 心のうち心のうちは松吉心のうちは池秀肖
 三尼歴徹証正飯理 心の中を肖三証正
 00 73 | 06 中のしななかのしな松池秀明尼歴理
 00 73 | 07 みあつめたる見あつめつる秀※
 00 73 | 07 事はこととは秀
 00 73 | 07 けにとはかと飯
 00 73 | 09 きのかみをきのかみ徹
 00 73 | 11 のたまひみんのたまひ見(て)む尼
 00 73 | 12 おとうとおと(う)と「朱」大
 00 73 | 12 二年「二ねん明飯ふたとせ肖三徹証正理」二
 とせ三徹正理
 00 73 | 13 ものし侍れとものし侍と松吉ものし侍へれ

と「トルカ」理※
 00 73 | 14 きゝ給ふるきゝ給ふる「るニミセケチカ」
 秀
 00 74 | 01 うと<しくうと<しう「尼ハくヲ削ツテ
 うヲ書ク」肖三尼徹証正うと<しく(う)
 理
 00 74 | 02 むつひむつひ松むつれ「尼ハひヲ削ツテれ
 ヲ書クカ、理ハひヲれニ直スカ」池肖三吉尼
 歴徹証正理※
 00 74 | 02 申す「ま(う)す松※
 00 74 | 02 五六日「五」六日池
 00 74 | 03 さましてさま(ま)して「朱」大
 00 74 | 03 なつかしくなつかしう松
 00 74 | 04 うれしとうれしく吉
 00 74 | 05 事も事池「事」理
 00 74 | 05 くはしくくはしう松
 00 74 | 05 とひ給ふとひきゝ給肖徹証正
 00 74 | 05 いらへいらへも三「いて(らへ)吉いらへも
 証
 00 74 | 06 うちいてにくしうちいてにてし飯
 00 74 | 07 たとらすたもらす飯
 00 74 | 07 御ふみを御文徹
 00 74 | 08 女「女の池
 00 74 | 08 あさましきにあさましきに「さノ上カラにヲ
 書クカ」松
 00 74 | 08 このこの吉
 00 74 | 09 御ふみを御ふみ証
 00 74 | 09 ひろけたりひろけたり「りノ上カラたヲ書ク
 カ」松「ひらけ(き)たり徹

00 74 | 10 ぬる夜へぬる夜「朱」大ぬるよ秀明吉徹正
飯

00 74 | 11 めもへめも三※

00 74 | 11 御かきさまもきりふたかりて「御」かきさま
へめもきりふたかりて吉

00 74 | 11 きりふたかりてめもきりて池秀肖吉歴徹証
正へめも 本きりふたかりて「ミセケチモ
「本」ノ書人時カ」三きりふたかりて「削訂跡
アリ」尼めもきりふたかりて「校合カ」理

00 74 | 11 うちそへりけるうちそへりける松うちそへ
りける池うちか(そ)へりける秀うちそへ
「り」ける尼※

00 74 | 12 身を身「を」明

00 74 | 12 給へり給へりける「後補カ」明

00 74 | 12 御かへり御返松池秀明吉尼飯理

00 75 | 01 いらせてけるといらせてけるかなと徹

00 75 | 02 いはぬそよきいはぬそよき(し)松いはぬそ
よし「飯ハキヲ削ツテシヲ書ク」肖吉尼徹証正
飯いはぬそよきし吉いはぬそよし(き)「し
ノ中程ニ補入符号、傍記トミタ」尼

00 75 | 02 さはさは(は)理

00 75 | 02 なまいり給そとなまいりそと証

00 75 | 02 むつかられてむつか「ら」れて明

00 75 | 02 いかてかいかてかは肖徹証正

00 75 | 03 きのかみ紀伊守松

00 75 | 03 ありさまを御ありさまを証ありさま
理

00 75 | 03 ついそうしついでそうし肖三徹証正ついで
(せうい)し理

00 75 | 04 ありけはありけは(はい)松

00 75 | 04 この子をもてかしつきてこの子をもてかし
つき肖三徹証正この子をもてかしつきて
本三このこをもてかしつきて飯※

00 75 | 04 君めしよせてきこしめしよせて吉

00 75 | 06 又も給へりまたも(又御ふみイ)たまへり
松

00 75 | 07 おきなをきへな松※

00 75 | 08 かくナシ徹

00 75 | 09 わか子にてを我こにて松池徹証我こにて
松わかこにて池

00 75 | 09 このかの松池秀肖三歴徹証正この「かヲ削ツ
テコヲ書クカ」尼(かい)の理

00 75 | 09 みしかりなんみしかしかりなん松みし
かり(ら)なん尼※

00 75 | 10 おもへる思へるを肖徹証正理

00 75 | 10 この子をこの松このこをみしかりなむ
との給へはさもやありけんいみしかりけるこ
とかなと思へるおかしとおほすこのこを秀こ
のこを「のヲ削ツテをヲ書クカ」尼※

00 75 | 11 みくしけとのに御みくしけとのに松池明吉
歴飯理御くしけ殿に秀肖三証正御みへくし
け殿に「にニミセケチカ」吉みくしけとのに
「御ヲ削ツテみヲ書ク」尼※

00 75 | 11 さうそくさうすく池

00 75 | 12 せさせせさせ給三

00 75 | 12 ありあり「と」尼

00 75 | 13 この子もこのこと(子)も吉

00 76 | 01 ほのかほのか秀

00 76 | 01 ありさまはありさまを松吉

00 76 | 02 みえみへ肖

00 76 | 03 なにかはなにかは池

00 76 | 04 こひしくもこひしくも松※

00 76 | 05 かるしくかるしく「尼ハろヲ削ツテ
るヲ書ク」肖三尼徹証正

00 76 | 06 所にひんなきふるまひやあらはれんとナシ
秀

00 76 | 06 所にところろに吉

00 76 | 06 あらはれんとあらはれん松池肖三吉歴徹証
正飯理あらはれむと明あらはれむへと
尼あらはれむむ理

00 76 | 06 いとをしくいとをしく「くノ下ノヲ削ル
カ」尼いとおしと証

00 76 | 07 ころナシ秀

00 76 | 07 まちいて給ふまちいてたまふに松まちいて
給て肖三徹証正理※

00 76 | 08 まかて給まちかて給吉

00 76 | 08 おはしましたりおはしたり証

00 76 | 08 きのかみ紀伊守松

00 76 | 08 おとろぎてやり水のめいほくとかしこまりよ
ろこふやり水のめいほくとおとろぎ(おとろ
きてやり水のめいほくと)かしこまる秀

00 76 | 09 めいほくめいほく松めいほく「尼ハ□ヲ削ツ
テんヲ書ク」池尼歴証めん(いイ)ほく池め
「い」ほく「後筆カ」明めほく飯※

00 76 | 09 こきみにはこ君は秀こ君に証

00 76 | 09 ひるよりひるつかたより肖徹証正

00 76 | 09 おもひよれると思ひよれりと徹正

00 76 | 10 ならばし「なとし」らしノ上カラとしヲ書ク
カ「松」ならし池秀三明吉尼歴飯理※
00 76 | 11 御せうそこ「御せうそく松」
00 76 | 11 ほとは「ほと吉」
00 76 | 13 さてまちつけ「まちつけ徹さへまてまちへ」と
リイ「つけ飯」
00 76 | 14 きこえさせん「きこえて」させ「む明」きこえむ
させん徹
00 76 | 14 事のまはゆければ「事はまはゆければ松徹」事
はまはゆく(け)「れは松※」
00 76 | 14 けちかければ「ちかければ吉」
00 77 | 01 かたはらいたしなやましければ「ナシ秀」
00 77 | 01 うちたゝかせ「うちたかせ飯」
00 77 | 01 なんと「尼ハ□ヲ削ッテもヲ書ク」池秀
肖三尼歴徹証正「なとへも」池三
00 77 | 02 はなれてをとて「はなれてをとて」移動符号ア
ルカ「吉」
00 77 | 02 いひしか「いひし吉飯」
00 77 | 02 かくれに「かくれかに池秀歴」かくれに「れト
にノ間ノカヲ削ル」尼
00 77 | 03 心して「心ちして肖徹」
00 77 | 03 御せうそこ「御せうそく松」
00 77 | 03 小君は「こきみえ」尼ハみえノ間ノはヲ削ル」
池肖三尼歴徹正飯理「小君はえ証」
00 77 | 03 もとめありきて「たつねありきて吉」
00 77 | 04 きたり「居たり松」
00 77 | 04 あさましく「あさましくて池」
00 77 | 05 かひなしと「へかい」なしと理
00 77 | 06 心はえは「心は池秀肖三歴徹証正」心はへは

三「所(心)はえは明(心(はえ)は尼」
00 77 | 06 おさなき「佐をさなき肖」
00 77 | 06 人の「人は松」
00 77 | 06 いみしく「いみしう池尼歴」
00 77 | 06 いむなる「いむ秀」
00 77 | 07 いひおとして「心地へいひをとして心ち池」
00 77 | 07 なむと「なと松(なへむ)と尼」
00 77 | 07 きこえさせよ「きこえさせて飯」
00 77 | 08 たれも「たれも」徹たれも「も」
理
00 77 | 08 みるらむ「思ふらむ池秀肖三歴徹証正理」みる
(思)らん三「みるらん」思ふヲ削ッテみるヲ書
クカ「尼」
00 77 | 08 いひはなちて「いひと(は)なちて理」
00 77 | 08 心のうちには「心の中には肖三証正」
00 77 | 09 とまれる「とまりぬる松」
00 77 | 10 おかしうも「おかしうも秀」おかしくもや肖
徹証正
00 77 | 10 しみて「しみて」ひヲ削ッテのヲ書ク」尼
00 77 | 12 いふかひなき「いふなき飯」
00 77 | 13 むしんに「むしに松」
00 77 | 13 おもひはてたり「おもひはてたる(り)大」思
はてたり「はカ」秀
00 77 | 14 よしを「よし吉」
00 78 | 01 いと「おしきいと」おしき飯
00 78 | 01 身も「身は(も)」朱「大」
00 78 | 01 はつかしく「はつかしく三」
00 78 | 02 いたく「いたう肖徹証正」
00 78 | 02 おほしたり「おほえたり飯」

00 78 | 04 心をしらて「こゝろ(を)しらて」ミセケチ
アルカ「秀」
00 78 | 04 その原の「そのはらや秀」
00 78 | 04 みちにあやなく「まといぬるかなきこえん」補
入「朱」大
00 78 | 04 みちにあやなく「道にあ(カイ)やなく」ヨイ
カ「理」
00 78 | 05 の給へり「のたまへはり松」
00 78 | 05 さすかに「さすか秀」
00 78 | 05 まとろまさりければ「まとろまれさりけり」尼
ハさりければ「ヲ削ッテれさりけりヲ書ク、理
ハさりけりノ後ニ「はい」ト書クカ」池尼歴証
理「まとろまれさりければ秀肖」まとろまさり
ければ(り)本「三」まとろまさりけり吉
00 78 | 06 かすならぬ「かすならぬ」てノ上カラぬヲ書
ク「秀」
00 78 | 07 こきみいと「おしきに」こ君いといとうし
さに「ウカ」吉
00 78 | 07 ありくを「ありく(ク)を松あるくを吉」
00 78 | 08 ひと所「ひと所は肖徹証正」
00 78 | 08 おほしつ「けらるれとおほしつ」けへらる」
れと歴
00 78 | 09 心さまの「心さまも」のヲ削ッテもヲ書ク」
尼
00 78 | 09 なを「(猶)池」
00 78 | 09 なをきえす「たちのほれりけるとねたくかゝる
につけてこそ心もとまれとかつはなへてか
やうのほとならさりけるを(猶きえすたちの
ほれりけると)ねたくかゝるにこそと(つけて

こそ心もとまれと)かつはるをねたくかゝる
 につけてこそ心もとまれと)かつは秀※
 00 78 | 09 きえすきこえす松※
 00 78 | 09 たちのほれりけると)たちのほれりけるも「尼
 ハとヲ削ツテもヲ書ク、理ハとヲもニ直ス
 カ「池肖尼正理」たちのほれりけると)も(本)
 三たちのほりけるも徹
 00 78 | 09 かゝるに)かゝるに「にヲ削ツテかゝヲ書ク」
 尼
 00 78 | 10 さはれと)さはれとは松)さはあれと池正)さ

は(あ)れと池)さ)は)れ)と(さらはさてあれと)
 秀
 00 78 | 11 おほせとも)おほせと松池秀肖三尼歴徹証
 正
 00 78 | 11 さも)ナシ吉
 00 78 | 11 おほしはつましく)えおほしはつましく池秀
 肖三歴証正)おほしはつましく「さも□おほし
 はつ□しくヲ削ツテさもおほしはつましくヲ
 書ク」尼)えおほしはなつましく徹)おほしは
 つましくて「てハ後補カ」飯

00 78 | 11 なを)われ秀
 00 78 | 12 むつかしけに)んつかしけにて松吉)むつかし
 けにて吉※
 00 78 | 12 いとおしと)いと)をしと松吉)いと)おし
 と飯
 00 78 | 14 うれしくめてたしと)うれしと徹
 00 78 | 14 人よりは)人よりもは吉
 00 79 | 01 おほさるとそ)おほさると松)おほさると
 そ秀